

(様式第 10)

8 京医病第 109 号
平成 28 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

京都府公立大学法人
理事長 長尾 真

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
氏 名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465 電話(075)251-5111
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 ②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 循環器内科 3 腎臓内科 4 呼吸器内科 5 内分泌・糖尿病・代謝内科 6 血液内科 7 リウマチ科 8 アレルギー科 9 神経内科（老年内科）	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 心臓血管外科 3 小児心臓血管外科 4 呼吸器外科 5 内分泌・乳腺外科 6 移植外科 7 小児外科 8 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118床	床	54床	床	893床	1,065床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	257人	275人	531.1人	看護補助者	33人	診療エックス線技師	人
歯科医師	5人	23人	28人	理学療法士	18人	臨床検査技師	18人
薬剤師	55人	6人	58.0人	作業療法士	7人	衛生検査技師	55人
保健師	人	人	人	視能訓練士	12人	その他	人
助産師	23人	人	23人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	754人	58人	793.3人	臨床工学士	17人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	人	人	人	栄養士	4人	その他の技術員	27人
歯科衛生士	8人	人	人	歯科技工士	4人	事務職員	206人
管理栄養士	9人	6人	14.7人	診療放射線技師	44人	その他の職員	人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月1日現在)

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	30人	眼科専門医	24人
外科専門医	66人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	28人
小児科専門医	36人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	31人
泌尿器科専門医	15人	麻酔科専門医	30人
産婦人科専門医	16人	救急科専門医	3人
		合計	315人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (吉村 了勇) 任命年月日 平成27年4月1日

医療に関する安全管理対策委員会委員長…1年6ヶ月

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	620.6人	2.9人	623.5人
1日当たり平均外来患者数	1288.6人	109.3人	1397.9人
1日当たり平均調剤数	1,363.2 剤		
必要医師数			143人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			21人
必要(准)看護師数			360人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要		
集中治療室	281.67 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	181.70m ² 9台	病床数	8床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 [共用室の場合] 共用する室名	37 m ²				
化学検査室	211m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置			
細菌検査室	99m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置、			
病理検査室	284m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム			
病理解剖室	75m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) L字形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置			
研 究 室	3,868m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート 他	(主な設備) 核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクローム、光度計、血液分析装置			
講 義 室	616m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	室数	4室	収容定員	420人
図 書 室	1,082m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ	室数	27室	蔵書数	14,000冊程度

	一 他	
--	-----	--

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成 年 月 日～平成 年 月 日
紹 介 率	73.6%	逆 紹 介 率
逆 紹 介 率	60.6%	
算 出 根 拠	A：紹 介 患 者 の 数	15,153人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,761人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,775人
	D：初 診 の 患 者 の 数	24,350人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

* 経過措置適応で、計画書提出済み

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

* 経過措置適応で、計画書提出済み

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	13人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	3人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	5人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	5人
前眼部三次元画像解析	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	9人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	148
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	125
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	147
4	原発性側索硬化症	9	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	99	60	再生不良性貧血	84
6	パーキンソン病	381	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	25	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	12	63	特発性血小板減少性紫斑病	136
9	神経有棘赤血球症	13	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	16	65	原発性免疫不全症候群	15
11	重症筋無力症	275	66	IgA 腎症	76
12	先天性筋無力症候群	67	67	多発性嚢胞腎	17
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	181	68	黄色靱帯骨化症	74
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	71	69	後縦靱帯骨化症	155
15	封入体筋炎	35	70	広範脊柱管狭窄症	8
16	クドウ・深瀬症候群	3	71	特発性大腿骨頭壊死症	292
17	多系統萎縮症	41	72	下垂体性ADH分泌異常症	7
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	164	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライゾーム病	21	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー	16	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	66	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	119	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	8
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	29
24	亜急性硬化性全脳炎	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	10	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	8	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	39	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	259
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	44
31	ベスレムミオパチー	5	86	肺動脈性肺高血圧症	190
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	39
34	神経線維腫症	89	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	42	90	網膜色素変性症	83
36	表皮水疱症	15	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	14	93	原発性胆汁性肝硬変	251
39	中毒性表皮壊死症	7	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	62	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	85
42	結節性多発動脈炎	78	97	潰瘍性大腸炎	373
43	顕微鏡的多発血管炎	189	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	9	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	25	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	137	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	580	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	78	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	110	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	128	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シエーグレン症候群	11	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	12	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	5	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アikalディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクト症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	23	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	10
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性隣炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	8

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料 (一般)特定機能病院入院基本料 7対1	・ハイリスク分娩管理加算
・(結核)特定機能病院入院基本料 7対1	・退院調整加算
・(精神)特定機能病院入院基本料 13対1	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・特定集中治療室管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・超急性期脳卒中加算	・小児入院医療管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・診療録管理体制加算1	・診療録管理体制加算1
・急性期看護補助体制加算	
・看護補助加算	
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病合併症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料	・神経学的検査
・外来緩和ケア管理料	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・院内トリアージ実施料	・コンタクトレンズ検査料1
・夜間休日救急搬送医学管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・地域包括診療料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・地域連携診療計画管理料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・認知症専門診断管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料2	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(I)
・植込型心電図検査	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・時間内歩行試験	・歯科口腔リハビリテーション料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・認知療法・認知行動療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療保護入院等診療料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・一酸化窒素吸入療法	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・う蝕菌無痛的窩洞形成加算	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・歯科技工加算	・経皮的動脈遮断術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・ダメージコントロール手術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・体外衝撃波胆石破碎術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体膀胱移植術、同種死体膀胱腎移植術
・網膜再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種死体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術	・生体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・輸血管理料 I	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用施設機器加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・定位放射線治療	・
・病理診断管理加算	・
・口腔病理診断管理加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・歯科矯正診断料	・
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・透析液水質確保加算2	・
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・
	・
	・

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
眼瞼挙筋を用いたヒト骨格筋幹細胞の単離および増殖制御技術開発	佐藤 貴彦	眼科	1,133,000	補委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
難治性筋疾患に対する細胞移植治療法の開発	佐藤 貴彦	眼科	3,000,000	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Stevens-Johnson症候群慢性期の診断基準・実態調査と治療法の確立	外園 千恵	眼科	10,000,000	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた国際的研究	外園 千恵	眼科	5,200,000	補委○ 文部科学省
性ホルモンによるヒトマイボーム腺および眼表面の制御調節機構の解明	鈴木 智	眼科	1,560,000	補委○ 文部科学省
涙液油層の動態特性を決定するマイボーム腺脂質の分子機構の解明	横井 則彦	眼科	1,690,000	補委○ 文部科学省
眼瞼手術が自発性瞬目と涙流量に及ぼす影響の解明と機能性涙涙の新しい術式の開発	渡辺 彰美	眼科	1,430,000	補委○ 文部科学省
原発開放隅角緑内障における視野障害パターン別全ゲノム解析	池田 陽子	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
エキソーム解析と細胞形質評価によるフックス角膜内皮ジストロフィの病因と病態の解明	上野 盛夫	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
再生医療による眼表面粘膜バリアーの再構築と重症炎症性疾患への応用	稲富 勉	眼科	1,430,000	補委○ 文部科学省
エネルギー応答を指標とする角膜内皮障害の創薬標的と早期診断基盤技術の開発	外園 千恵	眼科	1,560,000	補委○ 文部科学省
網膜色素上皮細胞の放出する細胞外粒子による網膜下炎症環境の破壊	羽柴 淳爾	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
膠様滴状角膜ジストロフィにおけるタイトジャンクション構成機構の解明	中司 美奈	眼科	1,560,000	補委○ 文部科学省
角膜におけるRSP01の恒常性維持機構	永田 真帆	眼科	1,560,000	補委○ 文部科学省
サルコイドーシスの病態解明	永田 健児	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
加齢黄斑変性における網膜色素上皮の機能的相転移の解析とエピジェネティックな制御	畑中 宏樹	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
眼型粘膜炎天疱瘡の病態に関するマクロファージと制御性T細胞の関与	榎本 暁子	眼科	1,430,000	補委○ 文部科学省
骨格筋幹細胞中での起こる転写制御機構の解明	佐藤 貴彦	眼科	2,600,000	補委○ 文部科学省
メラニン関連自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	3,770,000	補委○ 文部科学省
内視鏡を用いた上眼筋腱膜アプローチによる眼科手術の開発	小嶋 健太郎	眼科	2,470,000	補委○ 文部科学省
角膜内皮分化経路解明とそれに基づくヒトES/iPS細胞から角膜内皮細胞の分化誘導	中井 義典	眼科	1,950,000	補委○ 文部科学省
角膜上皮バリア機能改善を目指す低分子化合物スクリーニング	北澤 耕司	眼科	1,560,000	補委○ 文部科学省
膠様滴状角膜ジストロフィにおけるタイトジャンクション構成機構の解明	中司 美奈	眼科	1,993,550	補委○ 文部科学省
近赤外眼底自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	1,430,000	補委○ 文部科学省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	56,174,999	補委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	81,900,000	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代表課題: 難治性角結膜疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植	木下 茂	眼科	56,404,400	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高齢者の視覚機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	木下 茂	眼科	6,200,000	補委○ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発/均質な培養ヒト角膜内皮細胞による安全な再生医療の確立のための革新的評価法の開発	木下 茂	眼科	26,070,000	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
角膜内皮細胞至集団間コミュニケーションによる相転移制御の分子実態解明	木下 茂	眼科	6,240,000	補委○ 文部科学省
脂質メタボロミクスによる眼表面炎症疾患の病態解明ならびに疾患マーカーの探索	木下 茂	眼科	1,820,000	補委○ 文部科学省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	10,500,000	補委○ 厚生労働省
Toll様受容体を標的とする痒みの新規外用薬の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,544,000	補委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
アトピー性皮膚炎診療ガイドライン作成	加藤 則人	皮膚科	1,300,000	補委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
皮膚表皮細胞におけるボドブランンの機能解析	浅井 純	皮膚科	1,560,000	補委○ 文部科学省
データベース化を目指したヒトメラノーマMitf-M特異的分子標的療法の開発	中井 章淳	皮膚科	0	補委○ 文部科学省
概日リズムの変化がアレルギー疾患の発症と難治化におよぼす影響の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,690,000	補委○ 文部科学省
アトピー性皮膚炎におけるToll様受容体の役割の解明とそれに基づく新治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,690,000	補委○ 文部科学省
アトピー性皮膚炎の診療の均てん化のための大規模疫学調査と診療ガイドライン・連携資料の作成	加藤 則人	皮膚科	2,000,000	補委○ 厚生労働省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内視鏡手術に対応できる医療用遮着防止対策の開発と創製	内藤 泰行	泌尿器科	5,218,717	補助元 近畿経済産業省
前立腺癌密着小線源治療における恥骨干渉克服のための包括的線源挿入技術の開発	沖原 宏治	泌尿器科	650,000	補助元 文部科学省
羊膜を基質として作成した培養細胞シートを用いた尿路再建法の開発	内藤 泰行	泌尿器科	1,690,000	補助元 文部科学省
難治性膀胱上皮内癌に対する新規治療法としての γ 線照射膀胱内注入療法の開発	中西 弘之	泌尿器科	1,690,000	補助元 文部科学省
去勢抵抗性前立腺癌進展におけるヒストン修飾酵素の関与とその治療への応用	白石 匠	泌尿器科	1,430,000	補助元 文部科学省
ナノデバイスを利用した新規腎癌治療の開発	藤井 秀岳	泌尿器科	1,820,000	補助元 文部科学省
ナノ磁性ビーズを用いたmTOR阻害薬の抗腫瘍効果メカニズムの解析	大石 正勝	泌尿器科	2,080,000	補助元 文部科学省
声帯癌に対する細胞移植による再生医療に関する研究	平野 滋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補助元 文部科学省
声帯癌患者に対するKP-100(ヒト組み換えHGF;肝細胞増殖因子)の声帯内投与に関する第II相試験-医師主導治験	平野 滋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	27,000,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
蝸牛感覚上皮の組織構築とバリア機能-頂側結合の役割に関して-	坂口 博史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	補助元 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌に対する免疫遺伝子治療と分子標的薬併用治療についての検討	中野 宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補助元 文部科学省
気道防御機構としての下咽頭・喉頭の機能解剖学的研究	板東 秀樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補助元 文部科学省
内耳有毛細胞におけるRac分子種の機能解明と進行性難聴治療への応用	中村 高志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補助元 文部科学省
咽喉頭電気刺激による嚥下および呼吸中枢の協調性の改善に関する研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補助元 文部科学省
安静時fMRIを用いた強迫性障害患者の治療最適化ツール開発	酒井 雄希	精神科・心療内科	845,000	補助元 国立研究開発法人科学技術振興機構
真の社会イノベーションを表現する革新的「健やか力」創造拠点	成本 迅	精神科・心療内科	20,000,500	補助元 国立研究開発法人科学技術振興機構
認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発	成本 迅	精神科・心療内科	4,004,000	補助元 国立研究開発法人科学技術振興機構
BPSDの入院治療に関する研究	松岡 照之	精神科・心療内科	800,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築	成本 迅	精神科・心療内科	3,666,000	補助元 国立研究開発法人科学技術振興機構
セロトニン神経系の障害をともなう精神疾患における意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	4,810,000	補助元 文部科学省
インターネット依存の強迫性に注目した神経画像研究	福居 順二	精神科・心療内科	2,210,000	補助元 文部科学省
地域に根差したがん患者の精神的サポートシステムの開発	羽多野 裕	精神科・心療内科	910,000	補助元 文部科学省
85歳以上の超高齢者を対象とした簡便な認知機能スクリーニング検査法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,560,000	補助元 文部科学省
摂食障害患者家族への書籍・映像による心理教育の効果についての無作為比較対照試験	水原 祐起	精神科・心療内科	1,924,456	補助元 文部科学省
最新のIVRによる症状緩和についての研究 (分担課題名:緩和IVRの臨床的評価に関する研究)	竹内 義人	放射線科	1,000,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法:隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	520,000	補助元 文部科学省
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	1,430,000	補助元 文部科学省
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児腎臓血流評価法の検討	西田 香織	放射線科	650,000	補助元 文部科学省
呼吸中一酸化窒素測定による胸部放射線治療後放射線肺炎の早期発見・治療効果判定	山崎 秀哉	放射線科	2,544,472	補助元 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インフラソームによる神経炎症を標的とした慢性痛の新規治療戦略	天谷 文晶	麻酔科	7,540,000	補助委 文部科学省
線菌菌PerV-CpG(K3)-SPGワクテンの開発と前臨床試験	佐和 貞治	麻酔科	4,810,000	補助委 文部科学省
慢性的人工呼吸に対する上皮細胞骨格応答メカニズムの解明と治療への応用	橋本 杜志	麻酔科	1,170,000	補助委 文部科学省
術後抗血小板薬効果モニタリングのための血小板由来microRNA発現解析の検討	中山 力恒	麻酔科	1,690,000	補助委 文部科学省
オピオイドはTLR4を介して急性肺障害を増悪させるか？	松山 広樹	麻酔科	1,690,000	補助委 文部科学省
脳波ボワンカレプロットのヒステリシス解析を用いた即応的麻酔深度推定法の開発	林 和子	麻酔科	1,820,000	補助委 文部科学省
microRNAによる急性腎障害発症機序の解明と、早期診断バイオマーカーへの応用	影山 京子	麻酔科	2,470,000	補助委 文部科学省
新規神経栄養因子MANFの小胞体ストレス軽減作用を介した神経障害性痛治療の可能性	天谷 文晶	麻酔科	1,300,000	補助委 文部科学省
単一ドメイン抗体によるグラム陰性菌Ⅲ型病原毒性の抑制探索	佐和 貞治	麻酔科	1,430,000	補助委 文部科学省
流動力学環境下に観察する新規抗凝固薬の抗血栓性と、急性拮抗薬の決定	小川 寛	麻酔科	1,040,000	補助委 文部科学省
敗血症病態におけるmicroRNAによる単球系細胞内小胞体ストレス制御機序の解明	石井 祥代	麻酔科	910,000	補助委 文部科学省
microRNAを用いた術後心房細動発症機序の解明と早期診断バイオマーカーの開発	谷口 文香	麻酔科	2,464,473	補助委 文部科学省
microRNAの網羅的発現解析法を用いた血小板機能低下の機序解明と抑制法の開発	前田 祥子	麻酔科	2,730,000	補助委 文部科学省
グラム陰性菌のV抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査	佐和 貞治	麻酔科	3,438,700	補助委 文部科学省
術後譫妄と覚醒意識レベル評価のためのα波に関する術後前頭部脳波の同時解析	林 和子	麻酔科	1,601,697	補助委 文部科学省
炎症消滅調節因子とオートファジー誘導における術後回復力強化について	影山 京子	麻酔科	1,255,983	補助委 文部科学省
急性肺障害が及ぼすマクロファージ内microRNA発現変化と遺伝子治療への展開	竹下 淳	麻酔科	1,400,000	補助委 文部科学省
β遮断薬が及ぼす心臓手術術後期の心筋細胞内小胞体ストレス変化と遺伝子治療への応用	谷口 文香	麻酔科	2,272,050	補助委 文部科学省
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア科	1,170,000	補助委 文部科学省
in vitro神経傷害モデルを用いた神経障害性疼痛発症のメカニズム解析	細川 豊史	疼痛・緩和ケア科	2,080,000	補助委 文部科学省
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア科	2,807,691	補助委 文部科学省
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究	細川 豊史	疼痛・緩和ケア科	8,460,000	補助委 厚生労働省
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	細井 創	小児科	31,929,500	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
分子プロファイリングによる新規標的薬を適した難治性がん治療法開発(統合的ゲノムスクリーニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索)	細井 創	小児科	500,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床型横紋筋融解症における筋線粒体分化の誘導と治療法の開発	細井 創	小児科	3,900,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
日本横紋筋融解症グループ臨床試験の実施と分子生物学的マーカーを用いたリスク群分類の開発	細井 創	小児科	700,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児白血病におけるバイオマーカーによる早期診断技術の確立と実用化に関する研究	今村 俊彦	小児科	2,490,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
横紋筋肉腫を対象としたWT1ペプチドワクテンの開発についてCCT-A-2703	細井 創	小児科	565,328	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
横紋筋肉腫における有害事象に関わる薬理遺伝学的解析研究	細井 創	小児科	757,500	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代表課題: 難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	細井 創	小児科	0	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療開発のためのトランスレーショナルリサーチ	細井 創	小児科	12,610,000	補助委 文部科学省
血中分泌型microRNAを用いた横紋筋肉腫転移メカニズムの解明	土屋 邦彦	小児科	1,299,645	補助委 文部科学省
スーパー・ハイリスク神経芽腫における再発機序の解明	家原 知子	小児科	1,950,000	補助委 文部科学省
小児肥満におけるFTO遺伝子多型と肥満形成速度の関連解析	中島 久和	小児科	1,690,000	補助委 文部科学省
褐色脂肪細胞を標的としたAng 1-7の肥満治療への探索	森 潤	小児科	1,430,000	補助委 文部科学省
てんかん性脳症の予後改善に向けた創薬基盤研究	千代延 友裕	小児科	2,080,000	補助委 文部科学省
Siglec-9による活性化好中球細胞死誘導の分子学的機序とその臨床的意義の検討	加納 原	小児科	1,560,000	補助委 文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた胎児脳グルココルチコイド暴露モデルの確立と病態解明	森本 昌史	小児科	1,690,000	補助委 文部科学省
小児がんにおける地固め療法としてのペプチドワクテン療法の確立	細井 創	小児科	1,170,000	補助委 文部科学省
HMG2がん遺伝子を標的とした新規治療法の開発	宮地 充	小児科	1,820,000	補助委 文部科学省
ETP-ALLに対する新規治療の開発	吉田 秀樹	小児科	1,040,000	補助委 文部科学省
拡散テンソル画像を用いた極低出生体重児の治療評価と神経学的予後の検討	長谷川 龍志	小児科	910,000	補助委 文部科学省
ラブドウイルスにおける薬剤耐性機序のエピゲノム解析と新規治療法の開発	桑原 康通	小児科	1,040,000	補助委 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
代表:川崎病の病因・病態解明に基づく新規治療・予防法の開発 分担:川崎病の発症・増悪機序に関する実験的検討	清岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,000,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
IPS細胞技術を用いたガンマグロブリン不応川崎病に対する新規治療標的分子の同定	池田 和幸	小児循環器・腎臓科	1,690,000	補助元 文部科学省
川崎病における脱分化平滑筋による硬化化メカニズムの解明及び新規予防法の開発	丹羽 陽子	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補助元 文部科学省
小児期急性腎障害(AKI)後の慢性腎臓病(CKD)への進展に関する基礎的検討	西田 真佐志	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補助元 文部科学省
川崎病血管炎の炎症増悪因子としてのマンノース結合蛋白質に関する実験病理学的研究	清岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,690,000	補助元 文部科学省
非受容体型テロシキナーゼPDK2を分子標的とする川崎病新規治療法の開発	中村 明宏	小児循環器・腎臓科	1,430,000	補助元 文部科学省
冠動脈プロテオミクス解析による川崎病バイオマーカーの探索	河井 空子	小児循環器・腎臓科	1,170,000	補助元 文部科学省
網羅的解析による神経芽腫の標的分子・機構の固定と臨床・分子情報データベース構築(神経芽腫臨床情報データベースの作成)	田尻 達郎	小児外科	250,000	補助元 国立研究開発法人国立がん研究センター
高リスク神経芽腫に対する「ICE療法にBU/MEL大量レジメンを組み込んだ第Ⅱ相試験」	田尻 達郎	小児外科	4,534,627	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
なぜ遺伝子変異なしでがんができるか:その分子基盤解明と標的探索	田尻 達郎	小児外科	250,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経芽腫に対するEngineered Stem Cellによる新規細胞療法の開発	田尻 達郎	小児外科	4,420,000	補助元 文部科学省
神経芽腫発症4sのIPS細胞疾患モデルによる同時多発・自然退縮メカニズムの解析	文野 誠久	小児外科	1,560,000	補助元 文部科学省
中動物モデルを用いた横隔膜全欠損型ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,430,000	補助元 文部科学省
横隔膜全欠損に対する膈帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発	田尻 達郎	小児外科	1,170,000	補助元 文部科学省
先天性横隔膜ヘルニアモデルにおける胎児治療の開発	坂井 宏平	小児外科	1,430,000	補助元 文部科学省
超軟質精密心臓レプリカの心臓外科手術トレーニングと個別化医療の確立に向けた研究	山岸 正明	小児心臓血管外科	780,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
歯周病原細菌による歯周炎モデルを用いた心血管系疾患の発症メカニズムの検討	藤野 あかね	歯科	1,560,000	補助元 文部科学省
羊膜上培養歯周由来細胞シートを用いた新規骨再生医療に関する研究	山本 俊郎	歯科	1,690,000	補助元 文部科学省
口腔粘膜癌に対する予防・治療を目指したβ-クリプトキサンテンの検討	大迫 文重	歯科	1,820,000	補助元 文部科学省
骨再生医療のための新規羊膜上培養骨由来細胞シートの開発に関する研究	金村 成智	歯科	1,560,000	補助元 文部科学省
羊膜上培養歯周由来細胞シートを用いた新たな骨再生医療に関する基礎的研究	雨宮 傑	歯科	1,430,000	補助元 文部科学省
歯槽骨再生治療へのダイレクト・リプログラミング技術の応用	山本 健太	歯科	1,950,000	補助元 文部科学省
ナノゲルを用いた口腔癌の新規免疫療法の開発	足立 哲也	歯科	2,080,000	補助元 文部科学省
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	650,000	補助元 文部科学省
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	948,385	補助元 文部科学省
熱中症の低リスク群および死亡事例におけるリスク因子の検討	宮森 大輔	救急医療科	910,000	補助元 文部科学省
熱中症の低リスク群および死亡事例におけるリスク因子の検討	宮森 大輔	救急医療科	953,414	補助元 文部科学省
独自の圧負荷装置を用いた椎間板細胞のオートファジー機構の解明と制御方法の確立	池田 巧	リハビリテーション科	1,560,000	補助元 文部科学省
mTOR阻害による寿命延長効果に応用した新規椎間板再生法の確立	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,300,000	補助元 文部科学省
中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発(臨床検査法の開発)	福葉 亨	臨床検査部	100,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腎臓クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	集中治療部	1,430,000	補助元 文部科学省
急性肺障害に対するレゾルビン内包化陰性電荷リポソーム吸入療法の実験的検討	田畑 雄一	集中治療部	1,300,000	補助元 文部科学省
多施設における原発性骨腫瘍の臨床病理学的検討	小西 英一	病院病理部	1,920,820	補助元 文部科学省
小児骨髄系腫瘍における質の高い染色体診断法の確立	滝 智彦	遺伝子診療部	1,000,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腫瘍発生における多様なゲノム構造異常およびキメラ遺伝子形成の分子機構の解明	滝 智彦	遺伝子診療部	1,690,000	補助元 文部科学省
小児白血病におけるバイオマーカーによる早期診断技術の確立と実用化に関する研究	滝 智彦	遺伝子診療部	2,490,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者の摂食嚥下・栄養に関する地域包括的ケアについての研究	山脇 正永	総合診療部	260,000	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
中枢神経コネクティブを介した新規感下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,690,000	補助元 ○ 文部科学省
カロチノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究	高木 智久	消化器内科	60,575,000	補助元 ○ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
消化管機能分子と血清タンパク質の系統的解析による抗糖尿病機能性糖質の開発	内藤 裕二	消化器内科	11,874,200	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発	中西 守	消化器内科	11,536,000	補助元 ○ 文部科学省
食シグナルの認知科学の新展開と脳を活性化させる次世代機能性食品開発へのグランドデザイン	鎌田 和浩	消化器内科	3,000,000	補助元 ○ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 ○ 生物系特定産業技術研究支援センター
健康長寿延伸のための食育イニシアチブ協議会	内藤 裕二	消化器内科	64,969,933	補助元 ○ 農林水産省
C型肝炎の抗ウイルス治療法選択を目的とした新規検査係に関する研究	伊藤 義人	消化器内科	2,000,000	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代表課題:リレンザ純化学合成技術を基盤とした薬剤耐性新型インフルエンザウイルス出現に対応する新規抗ウイルス薬の開発	高木 智久	消化器内科	0	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Hsp27とSPARC蛋白質の同定・機能解析と大腸癌における意義解明	内藤 裕二	消化器内科	1,300,000	補助元 ○ 文部科学省
HO-1/CO系を基軸とした抗炎症性マクロファージ誘導と腸管炎症制御機構の解明	高木 智久	消化器内科	1,560,000	補助元 ○ 文部科学省
脂肪肝炎における脂肪化肝細胞の免疫原性及び肝内浸潤制御性T細胞についての検討	山口 寛二	消化器内科	1,430,000	補助元 ○ 文部科学省
HBV組み込みが肝発癌に果たす役割	南 祐仁	消化器内科	1,560,000	補助元 ○ 文部科学省
粘膜治癒を目的としたIBD治療におけるWnt5aペプチドの有用性に関する検討	内山 和彦	消化器内科	2,210,000	補助元 ○ 文部科学省
唾液による、実用的なH. pyloriの診断・抗生剤感受性試験の開発	半田 椿	消化器内科	1,560,000	補助元 ○ 文部科学省
熱ショック蛋白Apg-2の肝脂肪化と肝発癌誘導機序の解析	伊藤 義人	消化器内科	1,820,000	補助元 ○ 文部科学省
タイトジャンクションを標的としたアスピリン起因性小腸粘膜傷害の予防・治療薬の開発	福居 順文	消化器内科	1,430,000	補助元 ○ 文部科学省
食道扁平上皮癌の増幅遺伝子SOX2のmiRNA発現制御を介した発癌促進機構の解明	玄 泰行	消化器内科	1,430,000	補助元 ○ 文部科学省
肝癌の発生・進展における多機能分子p62の役割	塚村 敦詩	消化器内科	1,560,000	補助元 ○ 文部科学省
「CHP/NY-ESO-1ポリペプチドががんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前開Ⅱ相臨床試験」	石川 剛	消化器内科	6,000,000	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
免疫チェックポイント阻害剤を利用した新規免疫細胞療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,690,000	補助元 ○ 文部科学省
細胞免疫療法と抑制系免疫チェックポイント阻害剤との併用についての基礎的検討	岡山 哲也	消化器内科	1,300,000	補助元 ○ 文部科学省
心腎連関を考慮した新しい心不全治療の開発	浅沼 博司	循環器内科	1,170,000	補助元 ○ 文部科学省
新規ミトコンドリア蛋白による心筋アミノ酸代謝制御の解明と心不全治療への応用	約場 聖明	循環器内科	2,340,000	補助元 ○ 文部科学省
うつ病モデルマウスにおける骨髄単球系細胞の動態制御を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	2,860,000	補助元 ○ 文部科学省
老化に伴う循環器疾患におけるCavinファミリーの作用機構の解明	上山 知己	循環器内科	1,430,000	補助元 ○ 文部科学省
カベオラ構成蛋白Cavinファミリーの機能解析による肺高血圧発症機序の解明	中西 直彦	循環器内科	1,950,000	補助元 ○ 文部科学省
筋細胞特異的遺伝子MURCの腹部大動脈瘤モデルにおける機能解析	宮川 浩太郎	循環器内科	1,950,000	補助元 ○ 文部科学省
新規ミトコンドリアタンパクの機能解析と心不全治療への応用	有吉 真	循環器内科	1,560,000	補助元 ○ 文部科学省
バイオ3Dプリンターを用いた尿管創生に向けた基礎的研究	玉垣 圭一	腎臓内科	1,690,000	補助元 ○ 文部科学省
網羅的自己抗体アレイにより検出された2型糖尿病における膵島壊滅予測新規自己抗体定量用ELISAの開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	85,557	補助元 ○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
アンドロゲン低下によるサルコペニア惹起機構の解明	福井 達明	内分泌・糖尿病・代謝内科	3,380,000	補助元 ○ 文部科学省
制御性T細胞の強化による非アルコール性脂肪肝炎制御の実現とその免疫学的機構の解明	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	408,818	補助元 ○ 文部科学省
男性におけるテストステロン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補助元 ○ 文部科学省
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための他施設共同研究	黒田 純也	血液内科	300,000	補助元 ○ 国立研究開発法人国立がん研究センター
染色体中央診断・遺伝子解析	谷脇 雅史	血液内科	2,530,000	補助元 ○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血液腫瘍におけるPVT1再構成と相手遺伝子の分子細胞遺伝学的解析ならびに臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	1,040,000	補助元 ○ 文部科学省
PK1制御による多発性骨髄腫の疾患形成分子異常と腫瘍環境支持の包括的制御	黒田 純也	血液内科	1,430,000	補助元 ○ 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
関節リウマチの病態に關与する骨髄細胞の解析と新規治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,690,000	補助委 文部科学省
骨代謝におけるスフィンゴシンリシン酸レセプター-3(S1P3)の働き	河野 正孝	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,560,000	補助委 文部科学省
関節リウマチにおける骨髄細胞の機能と動態の検討	山本 相浩	膠原病・リウマチ・アレルギー科	0	補助委 文部科学省
循環器疾患を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	156,000	補助委 総務省
CADSIL患者データベースの構築と遺伝子検索と診断基準の策定	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	1,000,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
急性大動脈解離に合併する脳梗塞の診療指針検討	尾原 知行	神経内科(老年内科)	1,000,000	補助委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
transendocytosis障害による脳小血管病発症機序の解明と治療法開発	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	1,560,000	補助委 文部科学省
ヒトNotch3遺伝子導入ショウジョウバエを用いた小血管病の研究	水田 依久子	神経内科(老年内科)	1,560,000	補助委 文部科学省
αシヌクレインの脂質代謝の解明とそれに注目した新しいパーキンソン病治療戦略	笠井 高士	神経内科(老年内科)	2,340,000	補助委 文部科学省
筋疾患の診断・病態評価へのアミロイド・タウイメージングの新規応用	松尾 祐一	神経内科(老年内科)	1,170,000	補助委 文部科学省
シャルコー・マリー・トゥース病の診療向上に関するエビデンスを構築する研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	22,500,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
HAMに対する標準治療の確立に資する臨床試験実施を目指した研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	500,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遺伝子ニューロパチーの診断と治療	中川 正法	神経内科(老年内科)	500,000	補助委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
稀少難治性脳・神経疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢着型補助ロボットを用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	2,990,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性疾患実用化研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	1,300,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
わが国で発見されたTFG遺伝子異常による運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科(老年内科)	5,460,000	補助委 文部科学省
モデルショウジョウバエを用いたALS病態機序の解明と新規治療法への応用	東 裕美子	神経内科(老年内科)	1,560,000	補助委 文部科学省
遺伝性白質疾患の診断・治療・研究システムの構築	吉田 誠克	神経内科(老年内科)	300,000	補助委 厚生労働省
神経変性疾患領域における基礎的調査研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	500,000	補助委 厚生労働省
大規模疫学調査による認知症の発症促進因子および抑制因子の検索に関する研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	2,400,000	補助委 厚生労働省
HAM及びHTL-V関連希少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	700,000	補助委 厚生労働省
神経筋疾患の原因究明および革新的治療法開発に関する研究	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	1,500,000	補助委 厚生労働省
プリオンド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の病態解明・治療法開発	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	5,100,000	補助委 厚生労働省
進行性核上性麻痺及び頸縮疾患を対象とした多施設共同コホート研究によるバイオマーカー開発と自然歴の解明	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	840,000	補助委 厚生労働省
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	800,000	補助委 厚生労働省
パーキンソン病の神経障害性α-シヌクレインオリゴマーの同定と分子標的治療への応用	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	1,600,000	補助委 文部科学省
アミロイドβの毒性産物論を基盤としたアルツハイマー病の新しい予防戦略	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	1,500,000	補助委 文部科学省
5-アミノレブリン酸(5-ALA)とラナトコドナノ粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 美吾	消化器外科	15,613,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
グレリン投与による高齢者食道癌手術の安全性向上に関するランダム化第2相試験	大辻 美吾	消化器外科	400,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
消化器癌の分泌型exosomeを介した新たな癌の進展機序の解明と実地臨床への応用	大辻 美吾	消化器外科	2,600,000	補助委 文部科学省
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機序の解明と診断・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	2,080,000	補助委 文部科学省
胃癌腫瘍播種性転移に対する低浸透圧併用による抗癌剤腹腔内投与効果増強の試み	塩崎 教	消化器外科	1,820,000	補助委 文部科学省
胃癌腫瘍播種関連分泌型microRNAの同定と進展機序の解明	市川 大輔	消化器外科	650,000	補助委 文部科学省
末梢血を用いた液体生検としての胃癌HER2遺伝子増幅解析法の開発	岡本 和真	消化器外科	1,560,000	補助委 文部科学省
分泌型癌抑制microRNAを用いた消化器癌の抗癌剤感受性予測と核酸治療法の開発	小松 周平	消化器外科	1,950,000	補助委 文部科学省
肺癌の新規スクリーニング法ならびに再発診断法の開発	村山 康利	消化器外科	1,430,000	補助委 文部科学省
温熱刺激によるアクアポリン制御を介した胃癌低浸透圧細胞破壊増強機序の解明	小菅 敏幸	消化器外科	1,950,000	補助委 文部科学省
癌幹細胞特異的に発現するクロロイドイオン輸送体を標的とした食道癌新規治療法の開発	石本 武史	消化器外科	1,950,000	補助委 文部科学省
血漿中のmiRNAを指標とした新規肺癌リンパ節転移診断法の開発	森村 玲	消化器外科	1,170,000	補助委 文部科学省
食道癌に対するGSTP1タンパク質発現を指標とした新規個別化治療法の開発	藤原 斉	消化器外科	1,560,000	補助委 文部科学省
食道癌におけるオートファジーの役割の解明と新たな治療体系の開発	小西 博貴	消化器外科	1,950,000	補助委 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己心臓製ステントレス備置換術の安全性と効果に関する研究	夜久 均	心臓血管外科	500,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	4,290,000	補助元 文部科学省
生体内組織形成技術を用いた人工物を使用せずに作成する循環器領域への代用組織の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	3,510,000	補助元 文部科学省
ポリテトラフルオロエチレン超薄型肺動脈弁と洞付き人工血管の開発	山岸 正明	心臓血管外科	1,560,000	補助元 文部科学省
先天性心疾患外科治療におけるポリテトラフルオロエチレン製肺動脈代用弁の研究	宮崎 隆子	心臓血管外科	1,040,000	補助元 文部科学省
血流解析を組み込んだ循環器診断システムの開発と次世代の予測医療の樹立	宮崎 翔平	心臓血管外科	1,328,759	補助元 文部科学省
不活性ガス再呼吸法による非侵襲的心拍出量計測法:開心術後リハビリへの応用	土井 深	心臓血管外科	4,290,000	補助元 文部科学省
単層ミトコンドリア移植法の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,170,000	補助元 文部科学省
異種チューブ・マトリックスを足場に患者体内で再生する動脈グラフトの開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,430,000	補助元 文部科学省
遠隔期心機能予後を向上させる心臓血管手術を行うための、血流解析システムの構築	板谷 慶一	心臓血管外科	1,323,433	補助元 文部科学省
間葉系幹細胞の凝集体導入によるバイオチューブ代用血管移植後の血管壁再構築化促進	山南 将志	心臓血管外科	1,560,000	補助元 文部科学省
ステントグラフト内挿術後のエンドリークに対するMRIを用いた新しい評価法の開発	山本 経尚	心臓血管外科	1,559,793	補助元 文部科学省
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,282,319	補助元 文部科学省
遠隔期心機能予後を向上させる心臓血管手術を行うための、血流解析システムの構築	板谷 慶一	心臓血管外科	1,053,433	補助元 文部科学省
間葉系幹細胞の凝集体導入によるバイオチューブ代用血管移植後の血管壁再構築化促進	山南 将志	心臓血管外科	1,805,295	補助元 文部科学省
異種動物バイオチューブマトリックスを用いた二段階生体内組織形成技術の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,949,504	補助元 文部科学省
自家生体組織膜で被覆したstent Biocovered stentの開発	坂井 修	心臓血管外科	1,430,000	補助元 文部科学省
細胞を用いた機能的な立体組織製作技術の研究開発	五條 理志	心臓血管外科	52,815,000	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自己完結型心臓移植に向けた脱細胞化技術を用いた新生心臓の作出	五條 理志	心臓血管外科	5,980,000	補助元 文部科学省
臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	井上 匡美	呼吸器外科	300,300	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多孔質高分子樹脂を用いた低侵襲手術における臓器圧壊・刺刺機器の開発・改良	島田 順一	呼吸器外科	321,775	補助元 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
PPAR-gamma活性化による新たな肺癌分子標的療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	1,054,871	補助元 文部科学省
反転授業の呼吸器外科学臨床教育への導入と学習効果の検討	伊藤 和弘	呼吸器外科	2,470,000	補助元 文部科学省
エタノール放出発熱ホーマーによる微小スリガラス状肺癌の局所硬化治療法の基礎的検討	島田 順一	呼吸器外科	2,210,000	補助元 文部科学省
肺癌の薬剤耐性に関わるバクテリアキセル標的分子のプロテオーム解析法による同定	下村 雅律	呼吸器外科	520,000	補助元 文部科学省
ラットを用いた閉鎖瘻モデルでの低用量アスピリンによる胸膜癒着抑制の機序の解明	石原 駿太	呼吸器外科	650,000	補助元 文部科学省
PPAR-gamma活性化による新たな肺癌分子標的療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	844,871	補助元 文部科学省
内分泌療法耐性乳癌におけるエストロゲン付加および枯渴療法の治療効果予測因子の検索	大本 陽子	内分泌・乳腺外科	1,690,000	補助元 文部科学省
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	1,170,000	補助元 文部科学省
5-ALAによる新しいセンチネルリンパ節転移・断端診断法の開発	阪口 晃一	内分泌・乳腺外科	1,300,000	補助元 文部科学省
胸腺若年再生による前臨床大動物での免疫寛容誘導新戦略:宿主骨髄と胸腺外因子の役割	界 修治	移植・一般外科	5,070,000	補助元 文部科学省
低出力超音波パルスによる腎臓細管細胞再生促進法の開発	牛込 秀隆	移植・一般外科	1,300,000	補助元 文部科学省
腎移植後再発性IgA腎症に対する扁桃腺摘出の有効性に関する研究	吉村 了勇	移植・一般外科	1,560,000	補助元 文部科学省
ケロイドに対する新規分子標的併用療法の開発	西野 健一	形成外科	1,950,000	補助元 文部科学省
末梢神経損傷に対する細胞移植治療を目的とした新規シュワン細胞誘導法	素輪 善弘	形成外科	1,690,000	補助元 文部科学省
非侵襲的分子画像を用いたヒト大脳基底核障害における神経回路制御機構の解析	佐島 浩泰	脳神経外科	1,040,000	補助元 文部科学省
悪性グリオーマ幹細胞におけるWT1とALCAMの機能的役割と血管新生への関与	橋本 直哉	脳神経外科	1,526,860	補助元 文部科学省
脳腫瘍患者の病状説明における芸術的アプローチの応用研究	古野 優一	脳神経外科	390,000	補助元 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊髄functional MRIを用いた疼痛の定量評価法の確立	小田 良	整形外科	1,820,000	補助委 文部科学省
内腫に対する熱ストレス蛋白抑制技術を用いた断端処理方法の開発	寺内 竜	整形外科	1,560,000	補助委 文部科学省
転移性骨腫瘍に対する局所制御と骨形成促進を目的とした非手術的新規治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,820,000	補助委 文部科学省
容量電場刺激を用いた新たな骨粗鬆症治療法の開発	吉田 隆司	整形外科	1,560,000	補助委 文部科学省
関節軟骨二重造影法の確立—MRIによる軟骨初期変性の可視化を目指して—	生駒 和也	整形外科	1,300,000	補助委 文部科学省
生理的低酸素環境の再現による軟骨細胞のストレス応答機構の究明	新井 祐志	整形外科	1,560,000	補助委 文部科学省
足部・足関節変形における新しい画像解析法の確立—足部疾患の病態解明を目指して—	徳永 大作	整形外科	1,560,000	補助委 文部科学省
骨折修復と体内時計の包括的研究	藤原 浩芳	整形外科	1,430,000	補助委 文部科学省
CD81を標的とした新規抗がん薬の開発	白井 寿治	整形外科	1,430,000	補助委 文部科学省
光触媒と電磁波を併用した異物関連感染症の制御	金 郁結	整形外科	1,950,000	補助委 文部科学省
HIF-1αをターゲットとした新しいOA治療法の開発	久保 俊一	整形外科	1,560,000	補助委 文部科学省
足部疾患に対する有限要素法の応用—新しい装置療法の開発—	今井 寛	整形外科	1,170,000	補助委 文部科学省
成長軟骨板損傷に対するMRIを用いた画像評価法と成長軟骨再生医療の開発	岡 佳伸	整形外科	1,950,000	補助委 文部科学省
膜型エストロゲン受容体GPR30を用いた末梢神経における髄鞘形成活性化機構の解明	森崎 真介	整形外科	1,170,000	補助委 文部科学省
癒着治療に依存しない積極的筋損傷治療法の開発—線維芽細胞阻害に着目して—	中川 周士	整形外科	1,690,000	補助委 文部科学省
細胞間コミュニケーションの制御を軸とした関節リウマチの新たな治療戦略	土田 真嗣	整形外科	1,950,000	補助委 文部科学省
脳fMRIを用いた腰部脊柱管狭窄症による痛みの可視化へ向けた基礎研究	水野 健太郎	整形外科	1,820,000	補助委 文部科学省
ステロイド性骨壊死予防の臨床応用可能な条件の確立—高磁場MRIの定量評価を用いて	石田 雅史	整形外科	1,430,000	補助委 文部科学省
HO-1を用いた細胞ストレス耐性の増強による特発性大腿骨頭壊死症予防法の開発	青藤 正純	整形外科	1,430,000	補助委 文部科学省
光触媒と電磁波を併用した異物関連感染症の制御	金 郁結	整形外科	1,890,155	補助委 文部科学省
成長軟骨板損傷に対するMRIを用いた画像評価法と成長軟骨再生医療の開発	岡 佳伸	整形外科	1,589,444	補助委 文部科学省
癒着治療に依存しない積極的筋損傷治療法の開発—線維芽細胞阻害に着目して—	中川 周士	整形外科	1,300,000	補助委 文部科学省
細胞間コミュニケーションの制御を軸とした関節リウマチの新たな治療戦略	土田 真嗣	整形外科	1,500,000	補助委 文部科学省
ストレス応答機構を軸とした変形性関節症に対する分子標的治療の新展開	久保 俊一	整形外科	1,900,000	補助委 文部科学省
運動筋への局所温熱が運動時インターロイキン6の分泌に与える影響についての検討	伊藤 倫之	整形外科	1,528,869	補助委 文部科学省
グルコシルコヒドによる髄鞘形成機構の解明および髄鞘形成誘導を介した神経再生促進	藤原 浩芳	整形外科	1,400,050	補助委 文部科学省
肩胛板修復における骨髄由来細胞の分化の解明	森原 徹	整形外科	1,430,000	補助委 文部科学省
ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞移植による骨癒合促進方法の開発	谷口 大吾	整形外科	1,820,000	補助委 文部科学省
女性アスリートおよび指導者に対するOC/LEP使用実態調査、女性アスリートのための月経困難症および月経前症候群に対する治療指針(仮題)の作成	北脇 城	産婦人科	1,000,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Estrogen related receptorの発現への意義と分子標的治療	北脇 城	産婦人科	2,500,000	補助委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
子宮内膜症のエストロゲン関連受容体を介した増殖機構解明と新規分子標的治療の提案	北脇 城	産婦人科	2,990,000	補助委 文部科学省
エストロゲン関連受容体を標的とする新たな子宮内膜内分泌療法の開発	森 素穂	産婦人科	1,950,000	補助委 文部科学省
患者負担の少ない子宮体癌特異的バイオマーカーの同定と新たな予後因子の検討	黒屋 晴夫	産婦人科	200,000	補助委 一般財団法人 京都予防医学センター助成 平成27年度

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Takaya Iida	消化器内科	Rapamycin Improves Mortality Following Intestinal Ischemia-Reperfusion via the Inhibition of Remote Lung Inflammation in Mice.	Digestion. 2015;92(4):211-9.
2	Takeshi Ishikawa	消化器内科	Cytotoxic T lymphocyte-associated antigen 4 inhibition increases the antitumor activity of adoptive T-cell therapy when carried out with naïve rather than differentiated T cells.	Oncology Report. 2015 May;33(5):2545-52.
3	Yasuki Higashimura	消化器内科	Propionate Promotes Fatty Acid Oxidation through the Up-Regulation of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α in Intestinal Epithelial Cells.	Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 2015;61(6):511-5.
4	Tatsuzo Matsuyama	消化器内科	Tumor inoculation site affects the development of cancer cachexia and muscle wasting.	Internal Journal of Cancer. 2015 Dec 1;137(11):2558-65.
5	Mayuko Morita	消化器内科	Rapid assessment of singlet oxygen-induced plasma lipid oxidation and its inhibition by antioxidants with diphenyl-1-pyrenylphosphine (DPPP).	Analytical and Bioanalytical Chemistry. 2016 Jan;408(1):265-70.
6	Mayuko Morita	消化器内科	Assessment of radical scavenging capacity of antioxidants contained in foods and beverages in plasma solution.	Food Function. 2015 May;6(5):1591-9.
7	Yoshio Sumida	消化器内科	Helicobacter pylori infection might have a potential role in hepatocyte ballooning in nonalcoholic fatty liver disease.	Journal of Gastroenterology. 2015 Sep;50(9):996-1004.
8	Yuji Naito	消化器内科	Identification of cysteinylated transthyretin, a predictive biomarker of treatment response to partially hydrolyzed guar gum in type 2 diabetes rats, by surface-enhanced laser desorption/ionization time-of-flight mass spectrometry.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2016 Jan;58(1):23-33.
9	Yuji Naito	消化器内科	Isomeric effects of anti-diabetic α -lipoic acid with γ -cyclodextrin.	Life Sciences. 2015 Sep 1;136:73-8.
10	Akira Okajima	消化器内科	Drug-induced liver injury in a chronic hepatitis C patient treated by peginterferon, ribavirin and simeprevir.	Hepatology Research. 2015 Oct;45(10):E156-60.
11	Tetsuya Okayama	消化器内科	Hypersensitivity Reactions to Oxaliplatin: Identifying the Risk Factors and Judging the Efficacy of a Desensitization Protocol.	Clinical Therapeutics. 2015 Jun 1;37(6):1259-69.
12	Naoyuki Sakamoto	消化器内科	Phase I clinical trial of autologous NK cell therapy using novel expansion method in patients with advanced digestive cancer.	Journal of Translational Medicine. 2015 Aug 25;13:277.

13	Yuya Seko	消化器内科	Predictors of malignancies and overall mortality in Japanese patients with biopsy-proven non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatology Research. 2015 Jul;45(7):728-38.
14	Yuya Seko	消化器内科	Serum alanine aminotransferase predicts the histological course of non-alcoholic steatohepatitis in Japanese patients.	Hepatology Research. 2015 Oct;45(10):E53-61.
15	Yoshio Sumida	消化器内科	Lower levels of insulin-like growth factor-1 standard deviation score are associated with histological severity of non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatology Research. 2015 Jul;45(7):771-81.
16	Kohichiroh Yasui	消化器内科	EV11, a target gene for amplification at 3q26, antagonizes transforming growth factor- β -mediated growth inhibition in hepatocellular carcinoma.	Cancer Science. 2015 Jul;106(7):929-37.
17	Kohichiroh Yasui	消化器内科	Effect of PNPLA3 rs738409 variant (I148M) on hepatic steatosis, necroinflammation, and fibrosis in Japanese patients with chronic hepatitis C.	Journal of Gastroenterology. 2015 Aug;50(8):887-93.
18	Naohisa Yoshida	消化器内科	High incidence of metachronous advanced adenoma and cancer after endoscopic resection of colon polyps ≥ 20 mm in size.	Digestive Endoscopy. 2016 Mar;28(2):194-202.
19	Naohisa Yoshida	消化器内科	Risk of lens cloudiness during colorectal endoscopic submucosal dissection and ability of a novel lens cleaner to maintain and restore endoscopic view.	Digestive Endoscopy. 2015 Jul;27(5):609-17.
20	Naohisa Yoshida	消化器内科	Improvement in the visibility of colorectal polyps by using blue laser imaging (with video).	Gastrointestinal Endoscopy. 2015 Sep;82(3):542-9.
21	Kuniyoshi Fukai	循環器腎臓内科	Pyk2 aggravates hypoxia-induced pulmonary hypertension by activating HIF-1 α	American Journal of Physiology Heart and Circulatory Physiology. 2015 Apr 15;308(8):H951-9
22	Yoshiaki Shimoda	循環器腎臓内科	Diabetes-Related Ankyrin Repeat Protein (DARP/Ankrd23) Modifies Glucose Homeostasis by Modulating AMPK Activity in Skeletal Muscle	PLoS One. 2015 Sep 23;10(9):e0138624.
23	Taku Kato	循環器腎臓内科	Bone marrow angiotensin AT2 receptor deficiency aggravates atherosclerosis development by eliminating macrophage liver X receptor-mediated anti-atherogenic actions	Journal Renin Angiotensin Aldosterone Systm. 2015 Dec;16(4):936-46.
24	Daisuke Naito	循環器腎臓内科	The coiled-coil domain of MURC/cavin-4 is involved in membrane trafficking of caveolin-3 in cardiomyocytes	American Journal of Physiology Heart and Circulatory Physiology. 2015 Dec 15;309(12):H2127-36.

25	Kensuke Fukui	循環器腎臓内科	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor sitagliptin improves pancreatic β -cell function in hypertensive diabetic patients treated with angiotensin receptor blockers	J Renin Angiotensin Aldosterone Syst. 2015 Dec;16(4):1001-9.
26	Ryo Ishida	循環器腎臓内科	Kidney-specific Sonoporation-mediated Gene Transfer	Molecular Therapy. 2016 Feb;24(1):125-34.
27	Takuya Taniguchi	循環器腎臓内科	Arterial stiffness, endothelial dysfunction and recurrent angina post-chemotherapy	An international journal of medicine. 2015 Aug;108(8):653-5
28	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科	Food Order Has a Significant Impact on Postprandial Glucose and Insulin Levels.	Diabetes Care 38: e98-e99, 2015.
29	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科	Senescence marker protein-30/gluconolactonase deficiency exacerbates diabetic nephropathy through tubular injury in a mouse model of type 1 diabetes.	J. Diabetes Investig. 6(1): 35-43, 2015.
30	Emi Ushigome	内分泌・糖尿病・代謝内科	Optimal home SBP targets for preventing the progression of diabetic nephropathy in patients with type 2 diabetes mellitus.	J. Hypertens. 33(9): 1853-1859, 2015.
31	Takuya Fukuda	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of Brazilian green propolis in patients with type 2 diabetes: A double-blind randomized placebo-controlled study.	Biomed. Rep. 3(3): 355-360, 2015.
32	Muhei Tanaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Lower vegetable protein intake and higher dietary acid load associated with lower carbohydrate intake are risk factors for metabolic syndrome in patients with type 2 diabetes: Post-hoc analysis of a cross-sectional study.	J. Diabetes Investig. 6(4): 465-472, 2015.
33	Kanae Matsushita	内分泌・糖尿病・代謝内科	The novel association between red complex of oral microbe and body mass index in healthy Japanese: a population based cross-sectional study.	J. Clin. Biochem. Nutr. 57(2): 135-139, 2015.
34	Saori Majima	内分泌・糖尿病・代謝内科	The PR interval and QRS duration could be predictors of renal function decline.	Atherosclerosis 240(1): 105-109, 2015.
35	Noriyuki Kitagawa	内分泌・糖尿病・代謝内科	High-sensitivity cardiac troponin T is associated with coronary artery calcification.	J. Cardiovasc Comput. Tomogr. 9(3): 209-214, 2015.
36	Yoshitaka Hashimoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Modest alcohol consumption reduces the incidence of fatty liver in men: a population-based large-scale cohort study.	J. Gastroenterol. Hepatol. 30(3): 546-552, 2015.
37	Yoshitaka Hashimoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Hemoglobin concentration and incident metabolic syndrome: a population-based large-scale cohort study.	Endocrine 50(2): 390-396, 2015.

38	Yoshitaka Hashimoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Metabolically healthy obesity and risk of incident CKD.	Clin. J. Am. Soc. Nephrol. 10(4): 578-583, 2015.
39	Yoshitaka Hashimoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Maintaining Metabolically Healthy Overweight and Risk of Incident Type 2 Diabetes or Cardiovascular Disease.	Int. J. Diabetol. Vasc. Dis. Res. S3:001 1-6, 2015.
40	Yoshitaka Hashimoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Heart rate-corrected QT interval is a novel risk marker for the progression of albuminuria in people with Type 2 diabetes.	Diabet. Med. 32(9): 1221-1226, 2015.
41	Kuroda Junya	血液・腫瘍内科	Intravenous bortezomib for multiple myeloma that has progressed after subcutaneous bortezomib therapy.	Ann Hematol. Apr;94(4):687-489. 2015.
42	Kuroda Junya	血液・腫瘍内科	Prognostic indicators of lenalidomide for multiple myeloma: consensus and controversy.	Expert Rev Anticancer Ther. May; 15(7):787-804.2015
43	Tatekawa shotaro	血液・腫瘍内科	Thalidomide for tocilizumab-resistant ascites with TAFRO syndrome.	Clin Case Rep. Jun;3(6):472-478. 2015.
44	Mizutani Shinsuke	血液・腫瘍内科	Loss of RUNX1/AML1 arginine-methylation impairs peripheral T cell homeostasis.	Br J Haematol. Sep;170(6):859-373.2015
45	Shimura Yuji	血液・腫瘍内科	The longitudinal analysis of large granular lymphocytosis in patients with Philadelphia chromosome-positive leukemia treated with dasatinib.	Int J Hematol. Oct;102(4):426-433.2015.
46	Nagoshi Hisao	血液・腫瘍内科	Transcriptional dysregulation of the deleted in colorectal carcinoma gene in multiple myeloma and monoclonal gammopathy of undetermined significance.	Genes Chromosomes Cancer. Dec;54(12):788-795.2015.
47	Kobayashi Tsutomu	血液・腫瘍内科	The Kyoto Prognostic Index for patients with diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	Blood Cancer J. Jan; 15;6:e383.2016
48	Takimoto Tomoko	血液・腫瘍内科	Acute myocardial infarction as the initial thrombotic event of thrombotic thrombocytopenic purpura.	Blood Coagul Fibrinolysis. Jan; 11.2016. [Epub ahead of print]
49	Tanba Kazuna	血液・腫瘍内科	Toxic epidermal necrolysis in adult T cell leukemia/lymphoma treated with mogamulizumab.	Ann Hematol. Mar;95(4):661-662. 2016.
50	Numa S	神経内科(老年内科)	An Adult Case of Anti-Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein (MOG) Antibody-associated Multiphasic Acute Disseminated Encephalomyelitis at 33-year Intervals.	Internal Medicine. 2016;55:699-702.
51	Tsuji Y	神経内科(老年内科)	Does hand dominance affect peripheral nerve excitability?	Clinal Neurophysiology 2016 ;127:1921-2.

52	Kasai T	神経内科(老年内科)	Serum Levels of Coenzyme Q10 in Patients with Multiple System Atrophy.	PLoS One. 2016;11:e0147574.
53	Yoshida T	神経内科(老年内科)	Progressive multifocal leukoencephalopathy developing after liver transplantation showing marked neurological symptom improvement and arrest of further deterioration of imaging findings: A case report.	Journal of Neurological Science. 2015 ;359:1-3.
54	Makita N	神経内科(老年内科)	Very prolonged capsular warning syndrome.	Journal of Neurological Science. 2015 ;352:115-6.
55	Ishii R	神経内科(老年内科)	Decrease in plasma levels of α -synuclein is evident in patients with Parkinson's disease after elimination of heterophilic antibody interference.	PLoS One. 2015 ;10:e0123162.
56	Ohara T	神経内科(老年内科)	Early Stroke Risk after Transient Ischemic Attack in Patients without Large-Artery Disease or Atrial Fibrillation.	Journal of Stroke Cerebrovascular Disease. 2015 ;24:1656-61.
57	Toshiyuki Kosuga	消化器外科	Feasibility and Nutritional Benefits of Laparoscopic Proximal Gastrectomy for Early Gastric Cancer in the Upper Stomach.	Annals of Surgical Oncology Suppl 3: 929-35, 2015
58	Toshiyuki Kosuga	消化器外科	Impact of age on early surgical outcomes of laparoscopy-assisted gastrectomy with suprapancreatic nodal dissection for clinical stage I gastric cancer.	Anticancer Research35(4): 2191-8, 2015
59	Toshiya Ochiai	消化器外科 北部医療センター	Significance of hepatectomy for AJCC/UICC T3 hepatocellular carcinoma.	Anticancer Research35(5): 2921-8, 2015
60	Hidemasa Kubo	消化器外科	Impact of Body Weight Loss on Recurrence After Curative Gastrectomy for Gastric Cancer.	Anticancer Research36(2): 807-13, 2016
61	Mahito Miyamae	消化器外科	Plasma microRNA profiles: identification of miR-744 as a novel diagnostic and prognostic biomarker in pancreatic cancer.	British Journal of Cancer113(10): 1467-76, 2015
62	Hiroataka Konishi	消化器外科	Plasma level of metastasis-associated lung adenocarcinoma transcript 1 is associated with liver damage and predicts development of hepatocellular carcinoma.	Cancer Science107 (2): 149-54, 2016
63	Osamu Kinoshita	消化器外科	Flattened tumor requires a more careful attention for residual distal cancer spread in locally advanced lower rectal carcinoma after chemoradiotherapy.	Digestive Surgery32(3): 159-65, 2015
64	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Esophagectomy with gastric tube reconstruction for patients who previously underwent free jejunal transfer.	Esophagus12(3): 267-71, 2015

65	Shuhei Komatsu	消化器外科	Malignant potential in pancreatic neoplasm; new insights provided by circulating miR-223 in plasma.	Expert Opinion on Biological Therapy15(6): 773-85, 2015
66	Masahiro Tsujiura	消化器外科	Circulating miR-18a in plasma contributes to cancer detection and monitoring in patients with gastric cancer.	Gastric Cancer18(2): 271-9, 2015
67	Katsutoshi Shoda	消化器外科	HER2 amplification detected in the circulating DNA of patients with gastric cancer: a retrospective pilot study.	Gastric Cancer18(4): 698-710, 2015
68	Hiroataka Konishi	消化器外科	Effects of neutropenia and histological responses in esophageal squamous cell carcinoma with neo-adjuvant chemotherapy.	International Journal of Clinical Oncology21(1): 95-101, 2016
69	Osamu Kinoshita	消化器外科	The number of metastatic lymph nodes exhibiting poorly differentiated clusters predicts survival in patients with pStageIII colorectal cancer.	International Journal of Colorectal Disease31(2): 283-90, 2016
70	Atsushi Ikai	消化器外科	Phosphorylated retinoblastoma protein is a potential predictive marker of irinotecan efficacy for colorectal cancer.	International Journal of Oncology48(3): 1297-304, 2016
71	Fumiaki Ochi	消化器外科	Carbonic anhydrase XII as an independent prognostic factor in advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Journal of cancer6(10): 922-9, 2015
72	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Clinical significance and prognostic impact of the total diameter of enlarged lymph nodes on preoperative multidetector computed tomography in patients with gastric cancer.	Journal of Gastroenterology and Hepatology30(11): 1603-9, 2015
73	Hiroataka Konishi	消化器外科	Microarray technology and its applications for detecting plasma microRNA biomarkers in digestive tract cancers.	Methods in Molecular Biology1368: 99-109, 2016
74	Hiroki Kobayashi	消化器外科	Overexpression of denticleless E3 ubiquitin protein ligase homolog (DTL) is related to poor outcome in gastric carcinoma	Oncotarget6(34): 36615-24, 2015
75	Junichi Hamada	消化器外科	Tumor-promoting function and prognostic significance of the RNA-binding protein T-cell intracellular antigen-1 in esophageal squamous cell carcinoma.	Oncotarget7(13): 17111-28, 2016
76	Hitoshi Hino	消化器外科	Interaction of Cx43 with Hsc70 regulates G1/S transition through CDK inhibitor p27.	Scientific Reports5: 15365, 2015
77	Hitoshi Fujiwara	消化器外科	Single-Port Mediastinoscopic Lymphadenectomy Along the Left Recurrent Laryngeal Nerve.	The Annals of thoracic surgery100(3): 1115-7, 2015

78	Mahito Miyamae	消化器外科	Histological mixed-type as an independent risk factor for nodal metastasis in submucosal gastric cancer.	Tumor Biology37(1): 709-14, 2016
79	Shuhei Komatsu	消化器外科	Discrepancies in the histologic type between biopsy and resected specimens: a cautionary note for mixed-type gastric carcinoma	World Journal of Gastroenterology21 (15): 4673-9, 2015
80	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Laparoscopic transhiatal approach for resection of an adenocarcinoma in long-segment Barrett's esophagus.	World Journal of Gastroenterology21 (29): 8974-80, 2015
81	Taisuke Imamura	消化器外科	Clinical characteristics of hepatoduodenal lymph node metastasis in gastric cancer.	World Journal of Gastroenterology21 (38): 10866-73, 2015
82	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Clinicopathological characteristics of clinical early gastric cancer in the upper-third stomach	World Journal of Gastroenterology21 (45): 12851-6, 2015
83	Osamu Kinoshita	消化器外科	Histological evaluation for chemotherapeutic responses of metastatic lymph nodes in gastric cancer.	World Journal of Gastroenterology21 (48): 13500-6, 2015
84	Noriaki Koizumi	消化器外科	Recent advances in photodynamic diagnosis of gastric cancer using 5-aminolevulinic acid.	World Journal of Gastroenterology22 (3): 1289-96, 2016
85	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Evaluation of the safety and feasibility of laparoscopic total gastrectomy in clinical stage I gastric cancer patients.	World Journal of Surgery39(7): 1782-8, 2015
86	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Impact of combination criteria of nodal counts and sizes on preoperative MDCT in advanced gastric cancer.	World Journal of Surgery40(1): 158-64, 2016
87	Osamu Kinoshita	消化器外科	Poorly differentiated clusters with larger extents have a greater impact on survival: a semi-quantitative pathological evaluation for 239 patients with non-mucinous pT2-3 colorectal carcinoma.	World journal of surgical oncology13: 140, 2015
88	Ohira Suguru	心臓血管外科	Does Age at Operation Influence the Short- and Long-Term Outcomes of Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting?	Circulation Journal Vol.79(10),July 2015
89	Ohira Suguru	心臓血管外科	Impact of Chronic Kidney Disease on Long-term Outcomes of Patients with Diabetes Mellitus Undergoing Coronary Artery Bypass Grafting	Heart Surg Forum. 2014 Dec;17(6)
90	Ohira Suguru	心臓血管外科	Transaortic Repair as Bailout Procedure for Left Atrial Tear in Redo Mitral Valve Surgery via Superior Transseptal Approach.	Heart Lung Circ. 2016 Jan;25(1)

91	Ohira Suguru	心臓血管外科	Bilateral Internal Thoracic Artery Grafting During David Procedure Complicated with Coronary Insufficiency.	Nagoya Journal of Medical Science 08/2015; 77(3)
92	Ohira Suguru	心臓血管外科	Does Age Have an Effect on Systemic Inflammatory Response? - Reply -	Circulation Journal 2015 Nov 24.
93	Ohira Suguru	心臓血管外科	Acute type A aortic dissection repair with mid-to-moderate hypothermic circulatory arrest and selective cerebral perfusion.	J Cardiovasc Surg (Torino). 2015 Aug;56(4)
94	Ohira Suguru	心臓血管外科	Excess anterior mitral leaflet in a patient with hypertrophic obstructive cardiomyopathy and systolic anterior motion.	Circulation. 2015 May 5;131(18)
95	Ohira Suguru	心臓血管外科	Congenital Absence of One Pulmonary Valve Cusp With Other Hypoplastic Cusps.	Ann Thorac Surg. 2015 Oct;100(4)
96	Okada Satoru	呼吸器外科	A touch panel surgical navigation system with automatic depth perception	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 10: 243-51, 2015
97	Nakatsukasa K	内分泌・乳腺外科	Docetaxel and cyclophosphamide as neoadjuvant chemotherapy in HER2-negative primary breast cancer.	Breast Cancer
98	Nakatsukasa K	内分泌・乳腺外科	Docetaxel, cyclophosphamide, and trastuzumab as neoadjuvant chemotherapy for HER2-positive primary breast cancer.	Breast Cancer
99	Toshimasa Nakao	移植・一般外科	Evaluation of renal allograft fibrosis by transient elastography (fibro scan)	Transplantation Proceedings 47(3):640-643, Apr, 2015
100	Toshimasa Nakao	移植・一般外科	Evaluation of Rituximab Dosage for ABO-Incompatible Living-Donor Kidney Transplantation	Transplantation Proceedings 47(3):644-648, Apr, 2015
101	Tsukasa Nakamura	移植・一般外科	Advantages and disadvantages of pre-emptive kidney transplantation: Results from a single transplantation center	Transplantation Proceedings 47(3):626-629, Apr, 2015
102	Tsukasa Nakamura	移植・一般外科	Histopathologic impacts of everolimus introduction on kidney transplant recipients	Transplantation Proceedings 47(3):630-634, Apr, 2015
103	Shunpei Harada	移植・一般外科	Histological reversibility of diabetic nephropathy after kidney transplantation from diabetic donor to non-diabetic recipient	Nephrology 20(Suppl.2):40-44, July, 2015

104	Tsukasa Nakamura	移植・一般外科	Rapamycin Prolongs Cardiac Allograft Survival in a Mouse Model by Inducing Myeloid-Derived Suppressor Cells	American Journal of Transplantation 15(9): 2364-2377, Sept, 2015
105	Sowa Yoshihiro	形成外科	Ultrasound Shear-Wave Elastography for Follow-Up Fat Induration after Breast Reconstruction with an Autologous Flap	Plast Reconstr Surg Glob Open. 22巻 e518頁 2015年
106	Arai Yuji	整形外科	Comparative analysis of medial patellofemoral ligament length change pattern in patients with patellar dislocation using open-MRI	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, Epub ahead of print, 2015
107	Hara Yusuke	整形外科	Alteration of hindfoot alignment after total knee arthroplasty using a novel hindfoot alignment view	J Arthroplasty, 30:126-129, 2015.
108	Hara Yusuke	整形外科	Diffusion tensor imaging assesses triceps surae dysfunction after achilles tenotomy in rats	J Magn Reson Imaging, 41:1541-1548, 2015.
109	Hayashi Shigeki	整形外科	Evaluation of femoral perfusion in a rabbit model of steroid-induced osteonecrosis by dynamic contrast-enhanced MRI with a high magnetic field MRI system.	J Magn Reson Imaging, 41:935-940, 2015.
110	Honda Hiroaki	整形外科	Clinical application of radial magnetic resonance imaging for evaluation of rotator cuff tear	Orthop Traumatol Surg Res, 101: 715-719, 2015.
111	Horii Motoyuki	整形外科	Differences in monthly variation, cause, and place of injury between femoral neck and trochanteric fractures: 6-year survey (2008-2013) in Kyoto prefecture, Japan	Clinical Cases in Mineral and Bone Metabolism, Epub ahead of print, 2015.
112	Hosokawa Toshihiro	整形外科	Robust circadian rhythm and parathyroid hormone-induced resetting during hypertrophic differentiation in ATDC5 chondroprogenitor cells,	Acta Histochem Cytochem, 48:6, 2015.
113	Ikegami Akira	整形外科	Femoral perfusion after pulsed electromagnetic field stimulation in a steroid-induced osteonecrosis model.	Bioelectromagnetics, 36:349-357, 2015.
114	Ikoma Kazuya	整形外科	Hindfoot endoscopic exision of ankle posterior impingement including elderly patients.	Clin Res Foot Ankle, 31:398-403, 2015.
115	Imai Kan	整形外科	Biomechanical and histological effects of augmented soft tissue mobilization therapy on achilles tendinopathy in a rabbit model	J Manipulative Physiol Ther, 38: 112-118, 2015.

116	Inoue Hiroaki	整形外科	Hydrostatic pressure influences HIF-2 alpha expression in chondrocytes	Int J Mol Sci, 16: 1043-1050, 2015.
117	Ishibashi Hidenobu	整形外科	Hepatocyte growth factor/c-Met promotes proliferation, suppresses apoptosis and improves matrix metabolism in rabbit nucleus pulposus cells in vitro,	J Orthoped Res, Epub ahead of print, 2015.
118	Kabuto Yukichi	整形外科	Stimulation of rotator cuff repair by sustained release of bone morphogenetic protein-7 using a gelatin hydrogel sheet:	J Orthoped Res Part A, 21:2025-2032, 2015.
119	Kan Hiroyuki	整形外科	Characteristics of medial plica syndrome complicated with cartilage damage	Int Orthop, 39: 2489-2494, 2015.
120	Kato Kanmei	整形外科	Early postoperative cartilage evaluation by magnetic resonance imaging using T2 mapping after arthroscopic partial medial meniscectomy	Magn Reson Imaging, 33:1274-1280, 2015
121	Kotoura Ysohihiro	整形外科	Assessment of lateral subluxation in Legg-Calve-Perthes disease: a time-sequential study of magnetic resonance imaging and plain radiography,	J Pediatr Orthop B, 24:493-506, 2015.
122	Maki Masahiro	整形外科	Correlation between the outcome of extracorporeal shockwave therapy and pretreatment MRI findings for chronic plantar fasciitis	Mod Rheumatol, 25:427-430, 2015.
123	Matsuki Tomohiro	整形外科	Expression of connexin 43 in synovial tissue of patients with rheumatoid arthritis	Arch Rheumatol, Epub ahead of print, 2015.
124	Mizoshiri Naoki	整形外科	Transduction of Oct6 or Oct9 gene concomitant with Myc family gene induced osteoblast-like phenotypic conversion in normal human fibroblasts.	Biochem Biophys Res Commun, 467: 1110-1116, 2015.
125	Mori Gen	整形外科	Outcomes in cases of lumbar degenerative spondylolisthesis more than 5 years after treatment with minimally invasive decompression: Examination of pre- and postoperative slippage, intervertebral disc changes and clinical results	J Neurosurg Spine, Epub ahead of print, 2015.
126	Nakase Masashi	整形外科	Detection of early changes after growth plate injury using MRI	J Magn Reson Imaging, 42:1698-1704, 2015.
127	Nishida Atsushi	整形外科	A new method for the estimation of age at death by using electrical impedence: A preliminary study	Legal Medicine, 17:560-568, 2015.
128	Oda Ryo	整形外科	Function assessment for rheumatoid thumb deformity	Rheumatology and Autoimmune Diseases., 5:92-95, 2015.

129	Okubo Naoki	整形外科	Parathyroid hormone resets the cartilage circadian clock of the organ-cultured murine femur	Acta Orthopaedica, 86:627-631, 2015.
130	Sukenari Tuyoshi	整形外科	Cortical bone water changes in ovariectomized rats during the early postoperative period: Objective evaluation using sweep imaging with Fourier transform	J Magn Reson Imaging, 42:128-135, 2015.
131	Terauchi Ryu	整形外科	Magnetic resonance angiography evaluation of the bone tunnel and graft following ACL reconstruction with a hamstring tendon autograft,	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, Epub ahead of print, 2015.
132	Yamasaki Tetsuya	整形外科	In vivo evaluation of rabbit sciatic nerve regeneration with diffusion tensor imaging (DTI): correlations with histology and behavior	Magn Reson Imaging, 33:95-101, 2015.
133	Yoshihara Yasushi	整形外科	Assessing coronal laxity in extension and flexion at a minimum of 10 years after primary total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, Epub ahead of print, 2015.
134	Kitawaki Jo	産婦人科	Difference in mesothelin-binding ability of serum CA125 between patients with endometriosis and epithelial ovarian cancer.	International Journal of Cancer 136(8):1985-1990, 2015.
135	Kitawaki Jo	産婦人科	Loss of AF-6/afadin induces cell invasion, suppresses the formation of glandular structures and might be a predictive marker of resistance to chemotherapy in endometrial cancer.	BMC Cancer 15:275-284, 2015.
136	Kitawaki Jo	産婦人科	G protein-coupled estrogen receptor 1 agonist G-1 induces cell cycle arrest in the mitotic phase, leading to apoptosis in endometriosis.	Fertility and Sterility 103(5):1228-35, 2015.
137	Kitawaki Jo	産婦人科	Dienogest reduces HSD17 β 1 expression and activity in endometriosis.	Journal of Endocrinology 225(2):69-76, 2015.
138	Kitawaki Jo	産婦人科	Endometrioid adenocarcinoma arising from deep infiltrating endometriosis involving the bladder: A case report and review of the literature.	Gynecology Oncology Reports 13:68-70, 2015.
139	Noriaki Nakai	皮膚科	Clinical usefulness of Mohs' chemosurgery for palliative purposes in patients with cutaneous squamous cell carcinoma with risk factors or without indication for surgery: Three case reports.	Journal of Dermatology 42(4); 405-407, 2015
140	Noriaki Nakai	皮膚科	A Case of Inflammatory Linear Verrucous Epidermal Nevus on the Upper Eyelid.	Indian Journal of Dermatology 60(3); 323, 2015

141	Noriaki Nakai	皮膚科	Melanoma arising from the epidermis overlying an acquired intradermal nevus on the forehead	Indian Journal of Dermatology, Venereology and Leprology 81(5); 533-535, 2015
142	Noriaki Nakai	皮膚科	A case of fixed drug eruption caused by loxoprofen sodium hydrate.	Allergology International 64(4); 377-378, 2015
143	Noriaki Nakai	皮膚科	Adult T-cell Lymphoma Complicated with Epidermodysplasia Verruciformis-like Eruptions.	Acta Dermatovenereologica Croatica 23(4); 304-307, 2015
144	Jun Asai	皮膚科	Case of atrial fibrillation induced by interferon beta treatment for melanoma.	Journal of Dermatology 42(7); 720-722, 2015
145	Jun Asai	皮膚科	Platelets Regulate the Migration of Keratinocytes via Podoplanin/CLEC-2 Signaling during Cutaneous Wound Healing in Mice.	American Journal of Pathology 186(1); 101-108, 2016
146	Risa Tamagawa-Mineoka	皮膚科	Contact sensitivity in patients with recalcitrant atopic dermatitis.	Journal of Dermatology 42(7); 720-722, 2015
147	Makoto Wada	皮膚科	PDK1 is a potential therapeutic target against angiosarcoma cells.	Journal of Dermatological Science 78(1); 44-50, 2015
148	Eri Hotta	皮膚科	Persistent Pruritic Eruptions in Adult-onset Still's Disease: Additional Histopathological Findings.	Acta Dermatovenereologica Croatica 23(2); 146-147, 2015
149	Eri Hotta	皮膚科	Verrucous lesions arising in lymphedema and diabetic neuropathy: Elephantiasis nostras verrucosa or verrucous skin lesions on the feet of patients with diabetic neuropathy?	Journal of Dermatology 43(3); 329-331, 2016
150	Yuka Kaneko	皮膚科	The triangular intermuscular space: An uncommon sentinel node location in melanoma of the upper arm.	Journal of Dermatology 42(5); 548-550, 2015
151	Miho Tsutsumi	皮膚科	Malignant melanoma showing a rapid response to nivolumab.	Australasian Journal of Dermatology 57(1); 61-63, 2016
152	Yoshio Naya	泌尿器科	Initial experience of combined use of photodynamic diagnosis and narrow band imaging for detection of flat urothelial lesion.	International Journal of Clinical Oncology 20(3):593-597, 2015
153	Yasuhiro Yamada	泌尿器科	Permanent prostate brachytherapy and short-term androgen deprivation for intermediate-risk prostate cancer in Japanese men: outcome and toxicity.	Brachytherapy 14(2):118-123, 2015

154	Terukazu Nakamura	泌尿器科	Importance of continuous sequential chemotherapy and multimodal treatment for advanced testicular cancer: a high-volume Japanese center experience	Medicine (Baltimore) 94(11):1-7, 2015
155	Terukazu Nakamura	泌尿器科	Salvage combined chemotherapy with paclitaxel, ifosfamide and nedaplatin for patients with advanced germ cell tumors	International Journal of Urology 22(3):288-293, 2015
156	Terukazu Nakamura	泌尿器科	Clinical outcomes and histological findings of patients with advanced metastatic germ cell tumors undergoing post-chemotherapy resection of retroperitoneal lymph nodes and residual extraretroperitoneal masses.	International Journal of Urology 22(7):663-668, 2015
157	Hidekazu Tahara	泌尿器科	Evaluation of PSF1 as a prognostic biomarker for prostate cancer.	Prostate Cancer and Prostatic Diseases 18(1):56-62, 2015
158	Hidetaka Fujii	泌尿器科	Cycloamylose-nanogel drug delivery system-mediated intratumor silencing of the vascular endothelial growth factor regulates neovascularization in tumor microenvironment.	Cancer Science 105(12):1616-1625, 2015
159	Fumiya Hongo	泌尿器科	Laparoscopic off-clamp partial nephrectomy using soft coagulation.	International Journal of Urology 22(8):731-734, 2015
160	Yoshio Naya	泌尿器科	The efficacy of radio-frequency ablation for metastatic lung or liver tumors of male germ cell tumors as an alternative minimally invasive therapy after salvage chemotherapy.	International Journal of Clinical Oncology 20(6):1192-1197, 2015
161	Koji Okihara	泌尿器科	Comprehensive assessment for novel prostate cancer markers in the prostate-specific antigen era: focusing on Asians and Asian countries.	International Journal of Urology 22(4):334-341, 2015
162	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Percutaneous Nephrolithotripsy and Antegrade Ureterolithotripsy in a 10-Month-Old Infant with Urinary Stones in Both Kidney and Ureter	International Journal of Urology 22(1):128-130, 2015
163	Yoshio Naya	泌尿器科	Comparison of diameter-axial-polar nephrometry and RENAL nephrometry score for treatment decision-making in patients with small renal mass.	International Journal of Clinical Oncology 20(2):358-361, 2015
164	Takashi Ueda	泌尿器科	PAX2 promoted prostate cancer cell invasion through transcriptional regulation of HGF in an in vitro model	Biochim Biophys 185(11):2467-2473, 2015
165	Osamu Ukimura	泌尿器科	Trans-rectal Ultrasound Visibility of Prostate Lesions Identified by Magnetic Resonance Imaging Increases Accuracy of Image-fusion Targeted Biopsies	World Journal of Urology 33(11):1669-1676, 2015

166	Osamu Ukimura	泌尿器科	A novel technique using three-dimensionally documented biopsy mapping allows precise re-visiting of prostate cancer foci with serial surveillance of cell cycle progression gene panel	Prostate 75(8):863-871, 2015
167	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Prostate Cancer Volume Estimation by Combining Magnetic Resonance Imaging and Targeted Biopsy Proven Cancer Core Length: Correlation with Cancer Volume	Journal of Urology 194(4):957-965, 2015
168	Yasuhiro Yamada	泌尿器科	Salvage brachytherapy for locally recurrent prostate cancer after external beam radiotherapy.	Asian Journal of Andrology 17(6):899-903, 2015
169	Yasuhiro Yamada	泌尿器科	Laparoendoscopic Single-Site Surgery for Pediatric Urologic Disease.	Journal of Endourology 30(1):24-27, 2016
170	Gaku Ohmura	耳鼻咽喉科	Aberrant Myosin 1b expression promotes cell migration and lymph node metastasis of HNSCC.	Mol Cancer Res 13(4): 721-731, 2015.4.
171	Yoichiro Sugiyama	耳鼻咽喉科	Role of the retrotrapezoid nucleus/parafacial respiratory group in coughing and swallowing in guinea pigs.	J Neurophysiol 114(3): 1792-1805, 2015. 9.
172	Toru Kamitani	耳鼻咽喉科	Deletion of tricellulin causes progressive hearing loss associated with degeneration of cochlear hair cells.	Sci Rep 5: 18402, 2015.12.18. (http://www.nature.com/articles/srep18402)
173	Shigeyuki Mukudai	耳鼻咽喉科	Expression of Sex Steroid Hormone Receptors in Vagal Motor Neurons Innervating the Trachea and Esophagus in Mouse.	Acta Histochem Cytochem 49(1): 37-46, 2016.2.27.
174	Abe Yoshinari	精神科・心療内科	Hyper-influence of the orbitofrontal cortex over the ventral striatum in obsessive-compulsive disorder.	European Neuropsychopharmacology 25(11): 1898-1905, 2015.
175	Teruyuki Matsuoka	精神科・心療内科	Late-onset psychosis in older outpatients:a retrospective chart review.	International Psychogeriatrics 27(4):694-696, 2015.
176	Yamada Kei	放射線科	A case of testicular seminoma in persistent Mullerian duct syndrome with transverse testicular ectopia	Abdom Imaging 40(3):475-479, 2015
177	Yamada Kei	放射線科	Permanent prostate brachytherapy and short-term androgen deprivation for intermediate-risk prostate cancer in Japanese men: Outcome and toxicity	Brachytherapy 14:118- 123, 2015

178	Yamazaki Hideya	放射線科	Carotid blowout syndrome in pharyngeal cancer patients treated by hypofractionated stereotactic re-irradiation using CyberKnife: A multi-institutional matched-cohort analysis	Radiotherapy & Oncology 115(1): 67-71. 2015
179	Yamazaki Hideya	放射線科	Predictive value of skin invasion in recurrent head and neck cancer patients treated by hypofractionated stereotactic re-irradiation using a cyberknife	Radiotherapy & Oncology 10:210, 2015
180	Yamazaki Hideya	放射線科	Superiority of charged particle therapy in treatment of hepatocellular carcinoma (Regarding Qi W. X. et al. charged particle therapy versus photon therapy for patients with hepatocellular carcinoma: A systematic review and meta-analysis)	Radiother Oncol 2015 [Epub ahead of print]
181	Yamazaki Hideya	放射線科	Does good initial response during radiation therapy inversely imply poor survival outcome in NSCLC?. In regard to Brink et al	International Journal of Radiation Oncology · Biology & Physics 91(1): 244-245, 2015
182	Yamazaki Hideya	放射線科	Adjuvant chemoradiation after resection of pancreatic cancer. In regard to Morganti et al	Int J Radiat Oncol Biol Phys 91(4): 876, 2015
183	Yamazaki Hideya	放射線科	Hypofractionated radiotherapy for localized prostate cancer: a challenging accelerated hypofractionated radiotherapy	ANTICANCER RESEARCH 35(10):5167-5177, 2015
184	Sakai Koji	放射線科	How goes the protein content of CSF affect for DWI thermometry?: Initial results of phantom and subarachnoid hemorrhage patient study	International Journal of Complex Systems Computing, Sensing and Control 3(2): 169-180. 2015.
185	Ogawa Satoru	麻酔科	Fibrinogen measurements in plasma and whole blood: A performance evaluation study of the Dry-Hematology system.	Anesthesia & Analgesia. 2015; 120: 18-25.
186	Nakayama Yoshinobu	麻酔科	Thromboelastometry-guided intraoperative haemostatic management reduces bleeding and red cell transfusion after paediatric cardiac surgery.	Br J Anaesth. 2015; 114: 91-102.
187	Katoh Hideya	麻酔科	IV Immunoglobulin for Acute Lung Injury and Bacteremia in Pseudomonas aeruginosa Pneumonia.	Crit Care Med. 2015 Aug 27. [Epub ahead of print]
188	Hajime Hosoi	小児科	Current status of treatment for pediatric rhabdomyosarcoma in the USA and Japan	Pediatr Int. 2016 Feb;58(2):81-7
189	Kazutaka Ouchi	小児科	a novel fusion partner of ALK in an inflammatory myofibroblastic tumor	Pediatric Blood & Cancer 62(5): 909-11, 2015

190	Kazutaka Ouchi	小児科	A NOXA/MCL-1 Imbalance Underlies Chemoresistance of Malignant Rhabdoid Tumor Cells	Journal of Cell Physiology 2015 Dec 17. doi: 10.1002/jcp.25293
191	Yusuke Tsuma	小児科	Successful treatment of idiopathic colitis related to XIAP deficiency with allo-HSCT using reduced-intensity conditioning	Pediatric Transplantation. 19(1): E25-8, 2015.
192	Sachiko Kawashima-Goto	小児科	Identification of a homozygous JAK3 V674A mutation caused by acquired uniparental disomy in a relapsed early T-cell precursor ALL patient	International Journal of Hematology. 101(4): 411-6, 2015.
193	Kenichi Sakamoto	小児科	Hematopoietic stem cell transplantation-associated thrombotic microangiopathy accompanied by renal arteriolar C4d deposition.	Pediatric Transplantation. 19(4): E97-100, 2015.
194	Sachiko Kawashima-Goto	小児科	BCL2 Inhibitor (ABT-737): A restorer of prednisolone sensitivity in early T-cell precursor-acute lymphoblastic leukemia with high MEF2C expression?	PLoS One. 10(7): e0132926, 2015.
195	Satoshi Miyagaki	小児科	Successful treatment of relapsed ALCL with VLB monotherapy and allo-BMT with RIC regimen.	Pediatric International. 57(4): 791-4, 2015.
196	Rika Hiramoto	小児科	Serial investigation of PTPN11 mutation in nonhematopoietic tissues in a patient with juvenile myelomonocytic leukemia who was treated with unrelated cord blood transplantation.	International Journal of Hematology. 102(6): 719-22, 2015.
197	Takashi Morita	小児科	Low-grade intraventricular hemorrhage disrupts cerebellar white matter in preterm infants: evidence from diffusion tensor imaging.	Neuroradiology. 57(5): 507-14, 2015.
198	Michiko Yoshida	小児科	Modeling the Early Phenotype at the Neuromuscular Junction of Spinal Muscular Atrophy Using Patient-Derived iPSCs	Stem Cell Reports. 4: 561-8, 2015
199	Shinya Osone	小児科	Case reports of severe congenital neutropenia treated with unrelated cord blood transplantation with reduced-intensity conditioning	J Pediatr Hematol Oncol. 38(1): 49-52, 2016
200	Hideki Yoshida	小児科	Protracted administration of L-asparaginase in maintenance phase is the risk factor for hyperglycemia in older patients with pediatric acute lymphoblastic leukemia	PLoS One. 10(8): e0136428, 2015.
201	Mio Yano	小児科	Identification of novel kinase fusion transcripts in paediatric B cell precursor acute lymphoblastic leukaemia with IKZF1 deletion	British Journal of Haematology. 171(5): 813-7, 2015.

202	Hiroyuki Ishida	小児科	Comparison of outcomes for pediatric patients with acute myeloid leukemia in remission and undergoing allogeneic hematopoietic cell transplantation with myeloablative conditioning regimens based on either intravenous busulfan or total body irradiation: A Report From the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	Biology Blood and Marrow Transplantation. 21(12): 2141-47, 2015.
203	Hiroyuki Ishida	小児科	Comparison of a fludarabine and melphalan combination-based reduced toxicity conditioning with myeloablative conditioning by radiation and/or busulfan in acute myeloid leukemia in Japanese children and adolescents.	Pediatric Blood and Cancer. 62(5): 883-9, 2015.
204	Nishida Masashi	小児循環器・腎臓科/小児科	IgA nephropathy in a girl with mitochondrial disease.	Pediatrics International 2015 Apr;57(2):e50-2.
205	Sakamoto Kenichi	小児科/小児循環器・腎臓科	Hematopoietic stem cell transplantation-associated thrombotic microangiopathy accompanied by renal arteriolar C4d deposition.	Pediatric Transplantation 2015 Jun;19(4):E97-100.
206	Nishida Masashi	小児循環器・腎臓科	Coexisting membranous nephropathy and IgA nephropathy.	Fetal and Pediatric Pathology 2015 Nov 34(6):351-4.
207	Nishida Masashi	小児循環器・腎臓科	Combined Alport syndrome and Klinefelter syndrome.	Pediatrics International 2016 Feb;58(2):152-5.
209	Dai Asada	小児循環器・腎臓科	Combination of double aortic arch and interruption of aortic arch in pulmonary atresia with ventricular septal defect	Cardiol Young. 2015 25:994-5
210	Dai Asada	小児循環器・腎臓科	Asymptomatic spinal arteriovenous fistula presenting only as continuous murmur.	Pediatr Int. 2015 ;57:1208-10
211	Kenji Hamaoka	小児循環器・腎臓科	Oxidative Stress in Kawasaki Disease Vasculitis	International Journal of Pediatrics & Neonatal Care. 2015, 1:103
212	Maiko Fujii	小児循環器・腎臓科	Histopathological Characteristics of Post-inflamed Coronary Arteries in Kawasaki Disease-like Vasculitis of Rabbits.	Acta Histochem Cytochem. 2016;49(1):29-36.

213	Mayumi Higashi	小児外科	Retinoic acid-induced CHD5 upregulation and neuronal differentiation of neuroblastoma	Molecular Cancer 14: 150, 2015
214	Taizo Furukawa	小児外科	Successful laparoscopic extirpation of a large omental lipoblastoma in a child	Asian Journal of Endoscopic Surgery 8: 473-476, 2015
215	Shigehisa Fumino	小児外科	Validity of image-defined risk factors in localized neuroblastoma: A report from two centers in Western Japan	Journal of Pediatric Surgery 50: 2102-2106, 2015
216	Taizo Furukawa	小児外科	Surgical intervention strategies for pediatric congenital cystic lesions of the lungs: A 20-year single-institution experience	Journal of Pediatric Surgery 50: 2025-2027, 2015
217	Takeshi Amemiya	歯科	Autologous transplantation of oral mucosal epithelial cell sheets cultured on an amniotic membrane substrate for intraoral mucosal defects	PLoS ONE 10(4): e0125391, 2015. DOI: 10.1371/journal.pone.0125391.
218	Tetsuya Adachi	歯科	Vibrational algorithms for quantitative crystallographic analyses of hydroxyapatite-based biomaterials: II, application to decayed human teeth.	Analytical and Bioanalytical Chemistry 407(12), 3343-3356, 2015.
219	Kenta Yamamoto	歯科・免疫学	Direct conversion of human fibroblasts into functional osteoblasts by defined factors.	Proc Natl Acad Sci USA, 112(19), 6152-6157, 2015.
220	Fumitaro Miyatani	歯科・地域保健医療疫学	Relationship between Cnm-positive <i>Streptococcus mutans</i> and cerebral microbleeds in humans.	Oral Dis 21(7), 886-93, 2015.
221	Konishi Eiichi	病院病理部	Primary central chondrosarcoma of long bone, limb girdle and trunk: Analysis of 174 cases by numerical scoring on histology.	Pathology International. 65 468-475, 2015
222	Fujita Yasuko	病院病理部	Incidence of lymphatic involvement in differentiated-type intramucosal gastric cancers as examined by endoscopic resection.	Gastric Cancer. 19 192-197, 2016
223	Tohru Inaba	臨床検査部	Abnormal neutrophil scattergram obtained using Pentra MS CRP in the patients with myelodysplastic syndrome showing dysgranulopoiesis	International Journal of Laboratory Hematology 2016;38(1):27-33

226	Maho Nagata	眼科学教室	JBP485 promotes corneal epithelial wound healing.	Sci Rep. 5:14776.doi:10.1038/srep14776, 2015.
227	Norihiko Yokoi	眼科学教室	Importance of Tear Film Instability in Dry Eye Disease in Office Workers Using Visual Display Terminals: The Osaka Study.	Am J Ophthalmol. 159(4):748-754, 2015.
228	Chie Sotozono	眼科学教室	Predictive Factors associated with Acute Ocular Involvement in Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis.	Am J Ophthalmol. 160(2):228-237.e2, 2015.
229	Akihide Watanabe	眼科学教室	Long-term tear volume changes after blepharoptosis surgery and blepharoplasty.	Invest Ophthalmol Vis Sci 56(1): 54-58, 2015.
230	Norihiko Yokoi	眼科学教室	Three percent diquafosol ophthalmic solution as an additional therapy to existing artificial tears with steroids for dry-eye patients with Sjögren's syndrome.	Eye 29(9):1204-1212, 2015.
231	Masayuki Ouchi	眼科学教室	Implantation of refractive multifocal intraocular lens with a surface-embedded near section for cataract eyes complicated with a coexisting ocular pathology.	Eye 29(5): 649-55, 2015.
233	Yuichi Yokokawa	遺伝子診療部	Unique clonal relationship between T-cell acute lymphoblastic leukemia and subsequent Langerhans cell histiocytosis with TCR rearrangement and NOTCH1 mutation.	Genes, Chromosomes & Cancer 54: 409-417, 2015

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Fujii Wataru	膠原病・リウマチ・アレルギー科	Monocarboxylate transporter 4, associated with the acidification of synovial fluid, is a novel therapeutic target for inflammatory arthritis.	Arthritis & Rheumatology. 2015 Nov;67(11):2888-96.
2	Nagahara Hidetake	膠原病・リウマチ・アレルギー科	Allograft inflammatory factor-1 in the pathogenesis of bleomycin-induced acute lung injury.	Bioscience Trends. 2016 Feb;10(1):47-53.

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

226	Maho Nagata	眼科学教室	JBP485 promotes corneal epithelial wound healing.	Sci Rep. 5:14776.doi: 10.1038/srep14776, 2015.
227	Norihiko Yokoi	眼科学教室	Importance of Tear Film Instability in Dry Eye Disease in Office Workers Using Visual Display Terminals: The Osaka Study.	Am J Ophthalmol. 159(4): 748-754, 2015.
228	Chie Sotozono	眼科学教室	Predictive Factors associated with Acute Ocular Involvement in Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis.	Am J Ophthalmol. 160(2):228-237.e2, 2015.
229	Akihide Watanabe	眼科学教室	Long-term tear volume changes after blepharoptosis surgery and blepharoplasty.	Invest Ophthalmol Vis Sci 56(1): 54-58, 2015.
230	Norihiko Yokoi	眼科学教室	Three percent diquafosol ophthalmic solution as an additional therapy to existing artificial tears with steroids for dry-eye patients with Sjögren's syndrome.	Eye 29(9):1204-1212, 2015.
231	Masayuki Ouchi	眼科学教室	Implantation of refractive multifocal intraocular lens with a surface-embedded near section for cataract eyes complicated with a coexisting ocular pathology.	Eye 29(5): 649-55, 2015.
233	Yuichi Yokokawa	遺伝子診療部	Unique clonal relationship between T-cell acute lymphoblastic leukemia and subsequent Langerhans cell histiocytosis with TCR rearrangement and NOTCH1 mutation.	Genes, Chromosomes & Cancer 54: 409-417, 2015

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Fujii Wataru	膠原病・リウマチ・アレルギー科	Monocarboxylate transporter 4, associated with the acidification of synovial fluid, is a novel therapeutic target for inflammatory arthritis.	Arthritis & Rheumatology. 2015 Nov; 67(11):2888-96.
2	Nagahara Hidetake	膠原病・リウマチ・アレルギー科	Allograft inflammatory factor-1 in the pathogenesis of bleomycin-induced acute lung injury.	Bioscience Trends. 2016 Feb; 10(1):47-53.

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 臨床研究の原則、目的、学長の業務、研究責任者の業務、審査委員会事務局、講習の受講、データベースへの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	概ね年6回 (書面審査含む。)

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 「臨床研究 何が問題でどうすべきか～人を対象とする医学系研究に関する倫理指針への対応～」 「医学研究における被験者の同意とパターンリズム」	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

2 研修の実績

研修医の人数	198人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
保田 宏明	消化器内科	講師	24年	
中村 猛	循環器内科	助教(学内講師)	21年	
草場 哲郎	腎臓内科	助教(学内講師)	17年	
内野 順治	呼吸器内科	助教(学内講師)	17年	
山崎 真裕	内分泌・糖尿病・代謝内科	講師	20年	
古林 勉	血液内科	助教(学内講師)	14年	
妹尾 高宏	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	14年	
石井 亮太郎	神経内科(老年内科)	助教	11年	
市川 大輔	消化器外科	准教授	26年	
沼田 智	心臓血管外科	助教(学内講師)	21年	
宮崎 隆子	小児心臓血管外科	助教	20年	
加藤 大志朗	呼吸器外科	講師	27年	
中努 克彦	内分泌・乳腺外科	助教	12年	
飯田 拓	移植・一般外科	講師	19年	
古川 泰三	小児外科	講師	21年	
辻子 祥子	形成外科	助教	9年	
立澤 和典	脳神経外科	講師	22年	
白井 寿治	整形外科	准教授	20年	
岩佐 弘一	産婦人科	講師	25年	
秋岡 親司	小児科	講師	25年	
奥村 謙一	小児循環器・腎臓科	助教(学内講師)	19年	
米田 一仁	眼科	助教	16年	
益田 浩司	皮膚科	講師	20年	
牛嶋 壮	泌尿器科	助教(学内講師)	20年	
杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	助教	15年	
綾仁 信貴	精神科・心療内科	助教	10年	
高畑 暁子	放射線科	助教	15年	
中山 力恒	麻酔科	助教	11年	
深澤 圭太	疼痛・緩和ケア科	助教(学内講師)	21年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	助教(学内講師)	13年	
金村 成智	歯科	病院教授	32年	
太田 凡	救急医療科	教授	28年	
小西 英一	病理診断科	准教授	30年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病 院 長 古 村 了 勇	
管理担当者氏名	事 務 部 長 荒 田 均	

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	診療情報管理室 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。 紙カルテ（手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等）は、診療情報管理室に保管。 処方箋は調剤室に、エックス線写真でフィルム庫保管。 <p>※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
		高度の医療の研修の実績	病院管理課
		閲覧実績	病院管理課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	臨床倫理委員会
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	臨床倫理委員会
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院管理課長 吉田 周史		
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 堀井 孝		
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当		
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。			

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全管理のための基本的な考え方・ 安全管理のための組織・ 医療事故発生時の対応・ 医療事故及びインシデント報告制度・ 職員の教育・研修及び啓発・ 患者相談窓口	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (有・無)・ 開催状況：年 12 回・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全管理のための指針の策定及び変更・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 37 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 府立医大の災害対応・ 放射線検査における医療安全・ 医療事故調査制度について・ インシデント報告事例から考える安全な人工呼吸管理・ 患者・家族とのコミュニケーション・ ダブルチェックについて・ 苦情・クレーム対応	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施・ オカレンス報告の実施・ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行・ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧・ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方<ul style="list-style-type: none">院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針感染症の発生状況の報告に関する基本方針院内感染発生時の対応に関する基本方針患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む）<ul style="list-style-type: none">MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む）その他院内感染対策の推進に関する方策の検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年26回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">耐性菌結核CRBSIインフルエンザCD腸炎MRSA感染症	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無)その他の改善のための方策の主な内容： 各所属に「感染対策推進員」を配置し、年に数回会議を行う、さらに看護部門には推進員とは別に「リンクナース」を配置し、月1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。平成27年度には、新たに中央部門に「感染対策推進員」を配置し体制を強化した。年4回の合同会議の開催を計画し、院内感染対策の推進の充実を図っている。また、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： <全職員対象> 医薬品安全管理セミナー「医薬品・医療機器等安全性情報に関するトピックス」<部門別> 新人看護職員対象「医薬品の取扱い」 手術室医師対象「麻薬・筋弛緩薬等の取扱い」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有)・無・ 業務の主な内容： 1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し 2) 医薬品安全に関係する院内ラウンド	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会への出席 ・ 未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入。 2) 医薬品安全管理委員会の開催(月2回) ・ アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の立案・決定 ・ 未承認薬の処方状況の共有。 3) 全医薬品の処方量の把握 ・ 後発医薬品への切替等に利用。 4) 特定薬剤の処方モニタリング ・ ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤の初回投与患者における「効能効果の順守の確認」及び「HMG-CoA還元酵素阻害薬との併用の有無」等。 ・ EGFR-TKI初回処方患者における「オプジーボ®による前治療歴の有無」及び「有の場合のILDに関するICの有無」等 ・ ラミクタール®の初回処方時の患者における「バルプロ酸との併用の有無」及び導入期の患者における「投与量・増量間隔の適切性」等。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
・ 研修の主な内容：新規導入ME機器及び高度生命維持装置 人工呼吸器(VERA)、研修医向けHFOV研修会、ペースメーカー安全研修、部内BLS講習会など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容：MEセンター管理機器の基本性能試験、電気的安全試験、(4000台)/年 高度生命維持装置の業者依頼点検(人工呼吸器など)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 従来通りのPMDA、メーカー発出情報の収集他、医療安全管理部と多角的に連携している。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成28年10月に配置</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有(3名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月1回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報(禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。特に、安全使用が懸念される医薬品(ラモトリギン等)については、医薬品毎に担当者を決め、安全体制を強化している。</p> <p>緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実かつ速やかに提供している。</p> <p>特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に閲覧印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認医薬品の使用若しくは適応外又は禁忌等の使用については、それぞれ調剤部門(入院・外来)、病棟部門、製剤部門に責任担当者を平成28年8月に指名し、情報収集させるとともに、処方変更を含めた必要な提案や指導を行わせている。</p> <p>・担当者の指名の有無 ③ 有・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④ 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (④ 有・無)</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>ガイドラインの主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">・インフォームド・コンセントの意義・目的、注意点・実施の方法・内容・記録、説明・同意書の作成・緊急時のインフォームド・コンセント	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。また、「診療記録の記載マニュアル」を作成し、記載すべき項目や留意点を示したり、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の点検及び意見交換をするなど、診療記録の質的点検にも取り組んでいる。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員：専従（ 2 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 8 ）名 うち医師：専従（ 0 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 3 ）名 うち薬剤師：専従（ 0 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 1 ）名 うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 1 ）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ ・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・ 安全管理のための教育、研修の実施 ・ 安全対策の推進 ・ 院内死亡事例の確認 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>*経過措置適応で、計画書提出済み</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）</p>	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<p>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）</p>	

・ 規程の主な内容：

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況 有 無

・ 監査委員会の開催状況：年 回

・ 活動の主な内容：

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・ 委員名簿の公表の有無（有・無）

・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法：

*** 経過措置適応で、計画書提出済み**

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

・新採用者研修、研修医に対してインシデント・アクシデント報告の流れ、具体的事例の改善策についての研修を実施

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

* 経過措置適応で、計画書提出済み

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名：(公財) 日本医療機能評価機構 ・評価を受けた時期：平成28年2月 (認定期間：平成28年3月20日～平成33年3月19日)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページに、本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針、各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。 また、患者向け広報誌を発行(年3回)し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど7つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。	

(様式第 8)

8京医病第101号
平成28年9月7日

厚生労働大臣 殿

(京都府立医科大学附属病院)
開設者名 京都府公立大学法人

理事長 長尾 真 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

医療安全管理部長兼副院長が、実質的に医療安全管理責任者として業務を執行しているが、規程上は医療安全管理責任者を配置していないため、平成28年9月中に正式に医療安全管理責任者を配置し、関係規程に位置づけ明文化する。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

対応済

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

医療安全管理部副部長（医師）を責任者として配置する。そのための規程等を平成28年9月中に作成する。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

説明の実施に必要な方法に関する規程を平成28年9月中に作成する。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

対応済

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

対応済

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

対応済

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

対応済

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

対応済

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

対応済

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

対応済

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

対応済

13. 監査委員会を設置するための予定措置

平成28年中に設置することとし、関係規程を作成する。

現在の方向性としては、委員のうち、医療安全に関する業務に従事した経験を持つ者は、滋賀医大、京都大学との連携を行う予定で検討中。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

平成28年中に体制を整備し、関係規程を作成する。

近畿管内特定機能病院グループ（大阪市大・奈良県立医大・和歌山県立医大・国立循環器病センター、大阪府立成人病センター）内で、実施する方向で検討を進めている。厚生労働省より、ペアの組み方、チェック項目などの指示があれば、それに従う予定。

15. 職員研修を実施するための予定措置

対応済

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理職員（管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者）に対する研修実施、又は外部研修受講のための措置と、そのための予算化を平成28年度中に実施する。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（0）名、兼任（8）名
- うち医師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（3）名
- うち薬剤師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

平成29年4月に専任の医師1名・薬剤師1名、平成30年4月には専任の医師2名・薬剤師2名を配置することとし、平成28年度中に予算措置等を含め準備を進める。更に専任職員で運営している間に、専従の医師1名・薬剤師1名体制の準備を調べ、平成32年4月に配置する。